



エネルギーを新しい時代へ

【StudioX】ミニロボ_Excelとブラウザ操作

株式会社 JERA デジタルソリューション統括部
プラントソリューション部 支社ITソリューションユニット

タスク作成

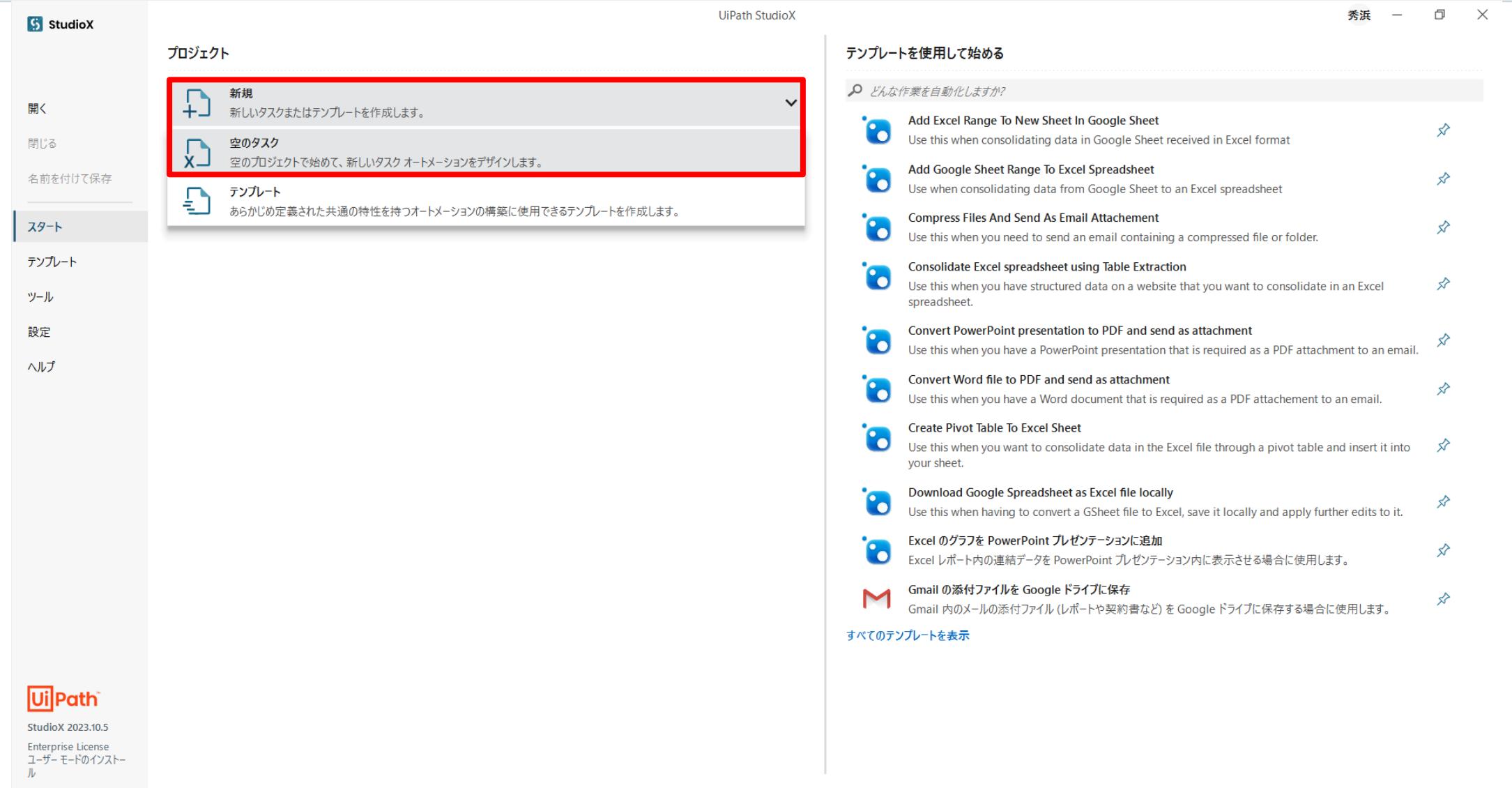
UiPath Studioを起動します。

The screenshot shows the main interface of UiPath StudioX. On the left, there's a sidebar with options like 'Open', 'Close', 'Save As', 'Start' (which is selected), 'Template', 'Tools', 'Settings', and 'Help'. At the bottom of the sidebar, there's a logo for 'UiPath' and text indicating it's version 2023.10.5, an Enterprise License, and the 'User Mode Install'.

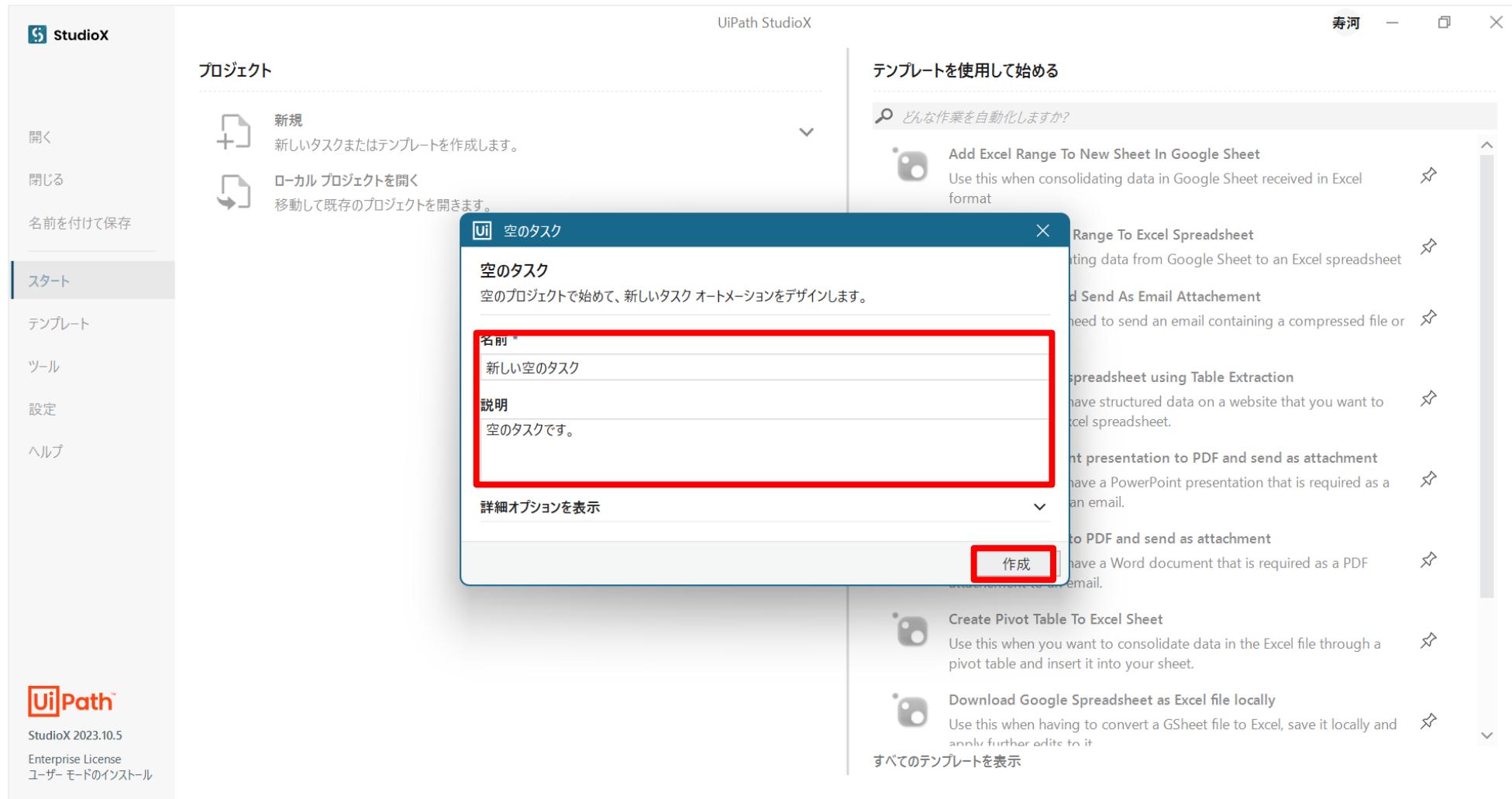
The main area has two sections:

- プロジェクト (Project):** Contains '新規' (New) and 'ローカルプロジェクトを開く' (Open Local Project).
- テンプレートを使用して始める (Start with Templates):** A list of pre-made templates with descriptions:
 - Add Excel Range To New Sheet In Google Sheet
 - Add Google Sheet Range To Excel Spreadsheet
 - Compress Files And Send As Email Attachment
 - Consolidate Excel spreadsheet using Table Extraction
 - Convert PowerPoint presentation to PDF and send as attachment
 - Convert Word file to PDF and send as attachment
 - Create Pivot Table To Excel Sheet
 - Download Google Spreadsheet as Excel file locally

UiPath Studioのホーム画面で 「新規」「空のタスク」をクリックします。

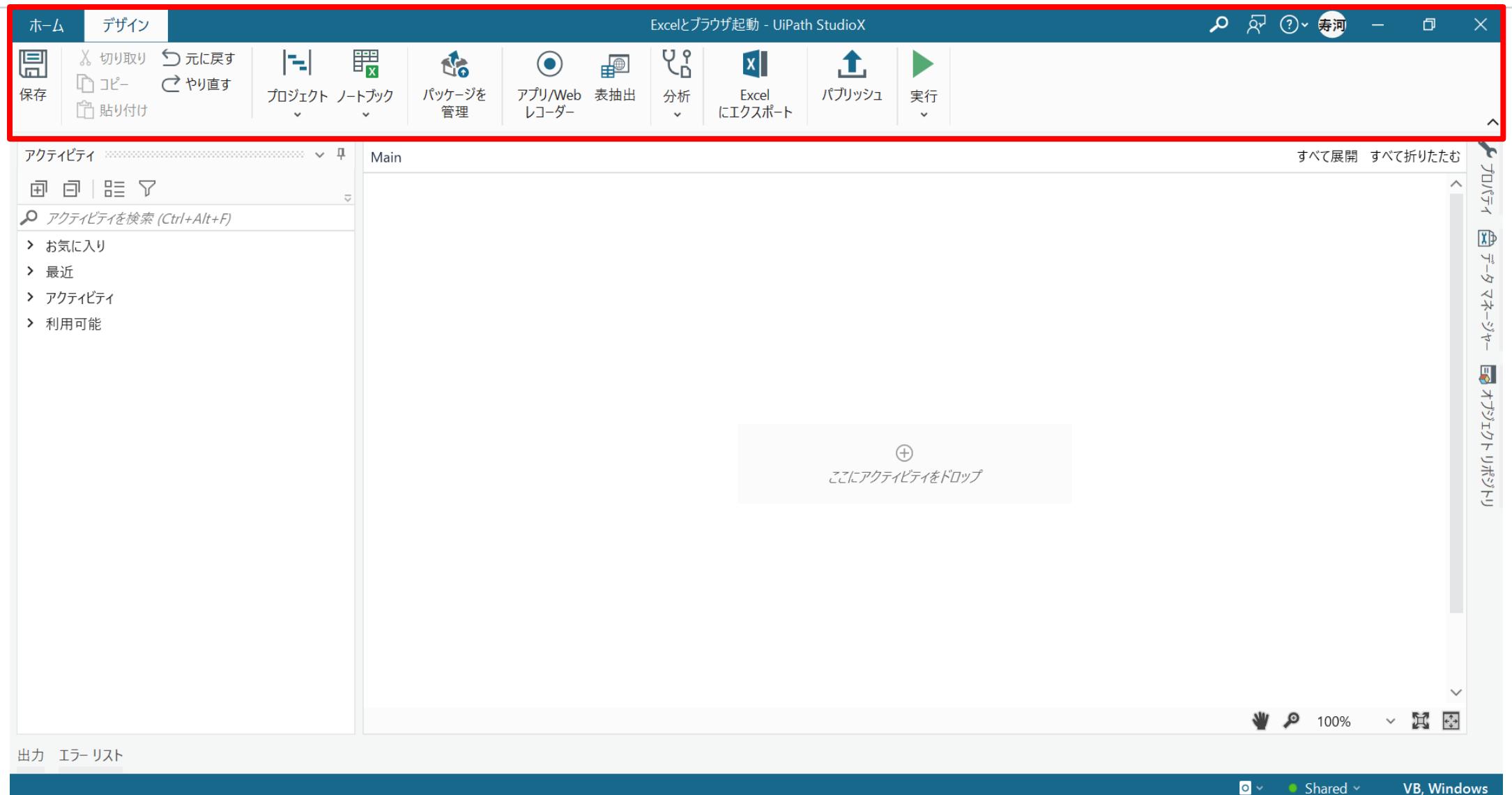


名前に「Excelとブラウザ操作」を入力、
「作成」をクリックします。

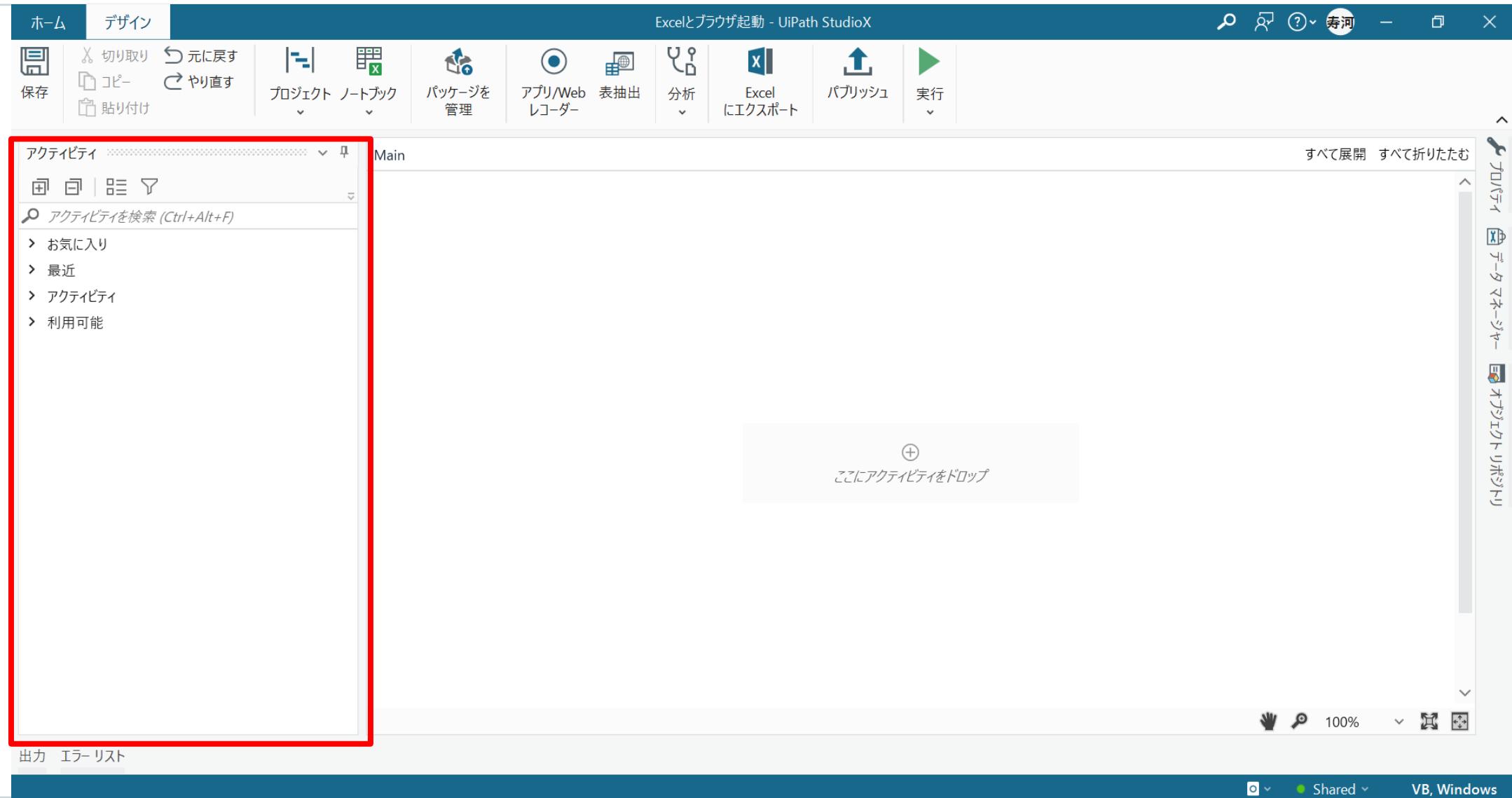


画面構成

上部が「リボン」です。



左側が「アクティビティパネル」です。



中央が「デザイナーパネル」です。

Excelとブラウザ起動 - UiPath StudioX

ホーム デザイン

保存 切り取り コピー 貼り付け ノートブック プロジェクトを管理 アプリ/Web レコーダー 表抽出 分析 Excelにエクスポート パブリッシュ 実行

アクティビティ

Main

すべて展開 すべて折りたたむ

お気に入り 最近 アクティビティ 利用可能

アクティビティを検索 (Ctrl+Alt+F)

ここにアクティビティをドロップ

プロジェクト データマネージャー オブジェクトリポジトリ

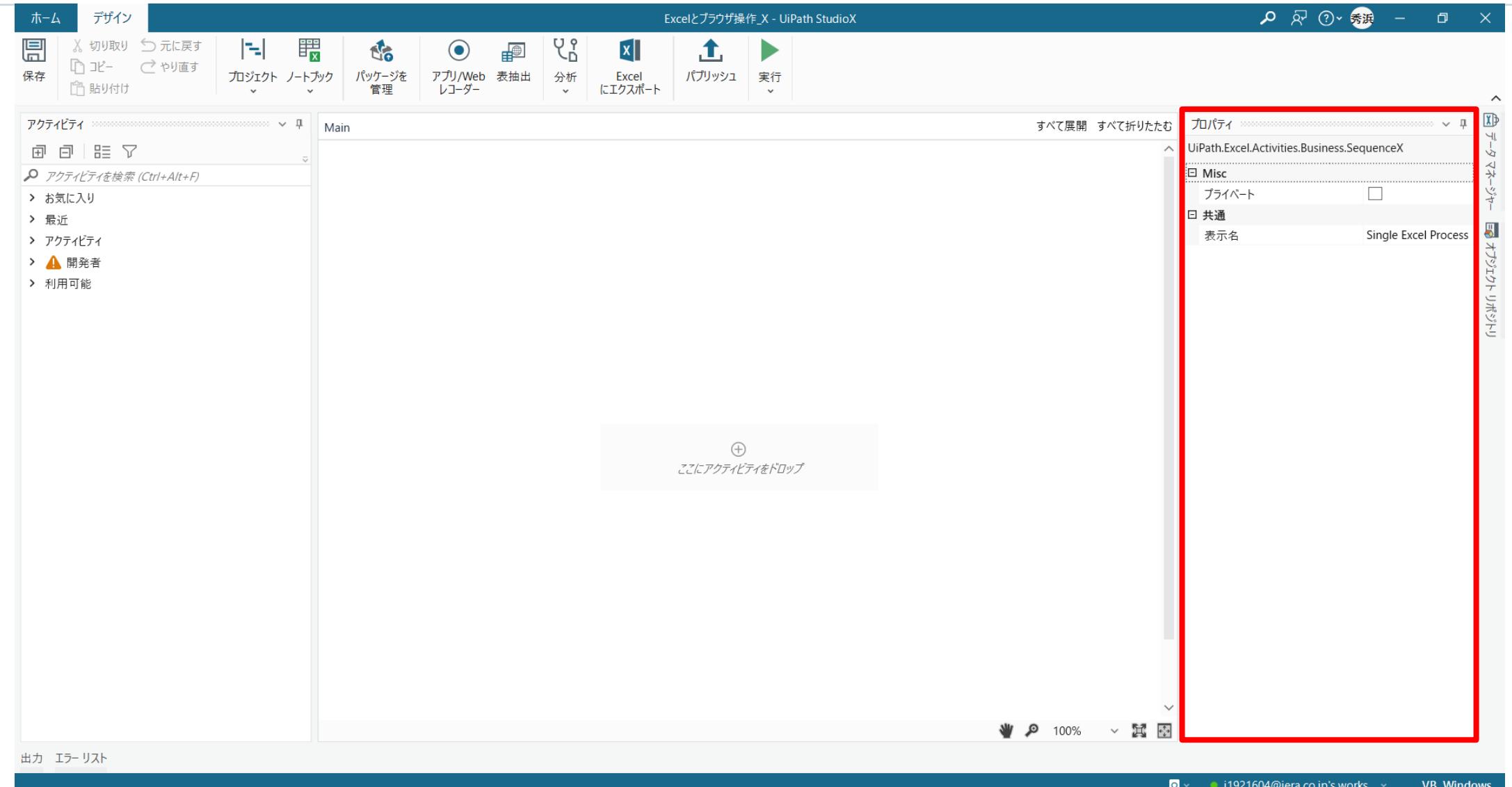
100%

出力 エラー リスト

Shared VB, Windows

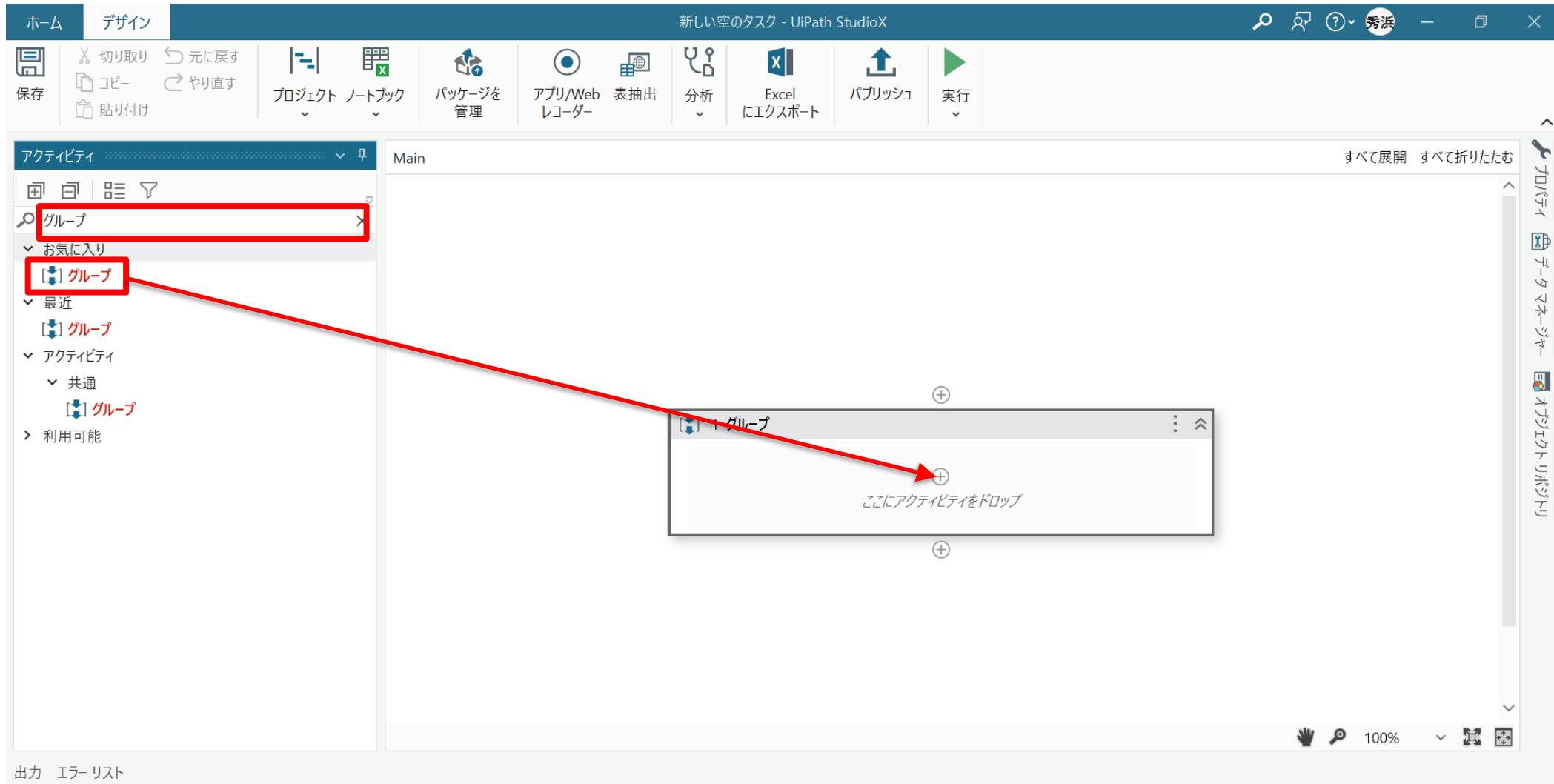
JERA

右側が「プロパティパネル」です。

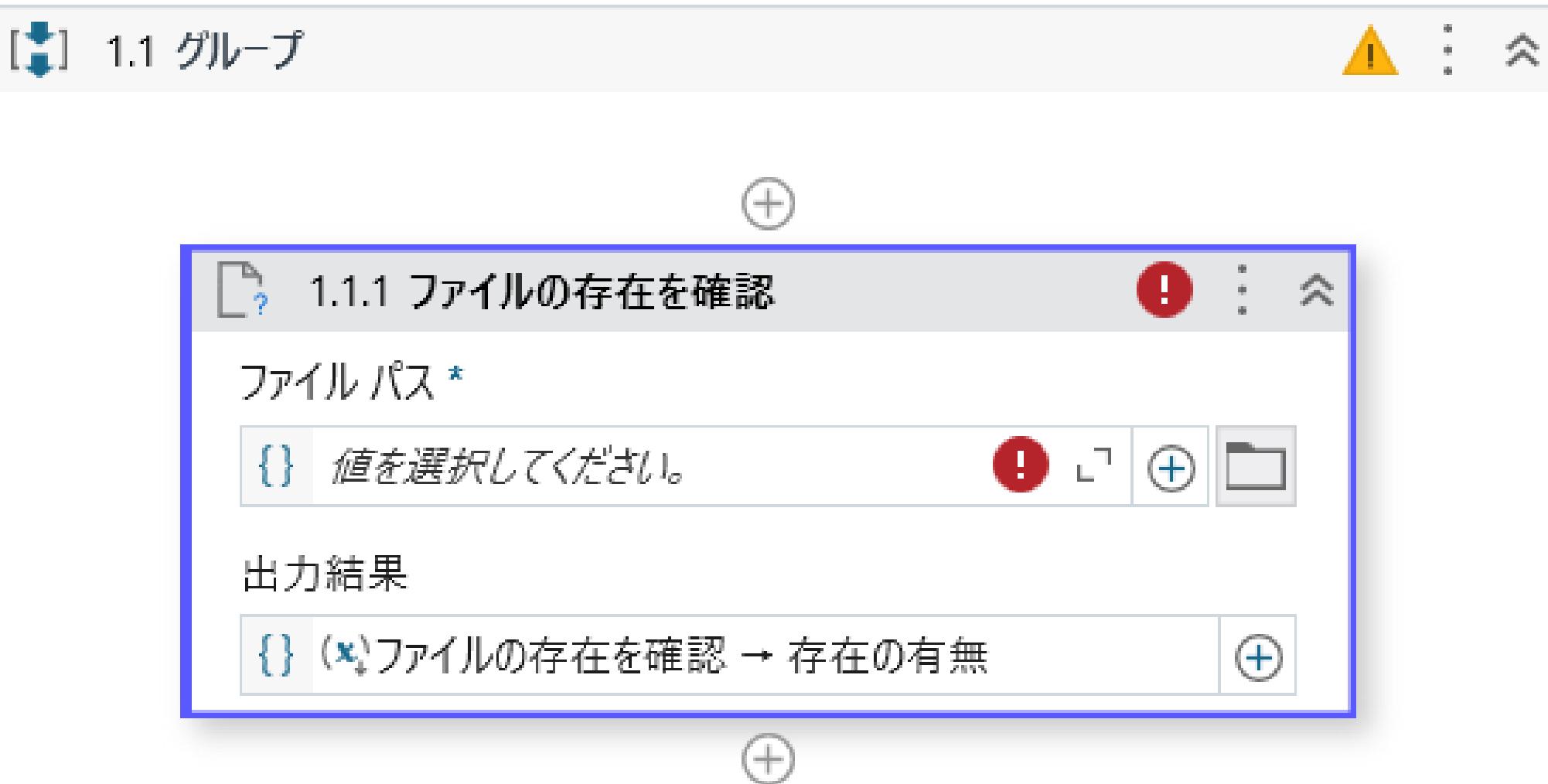


URLからファイルをダウンロード

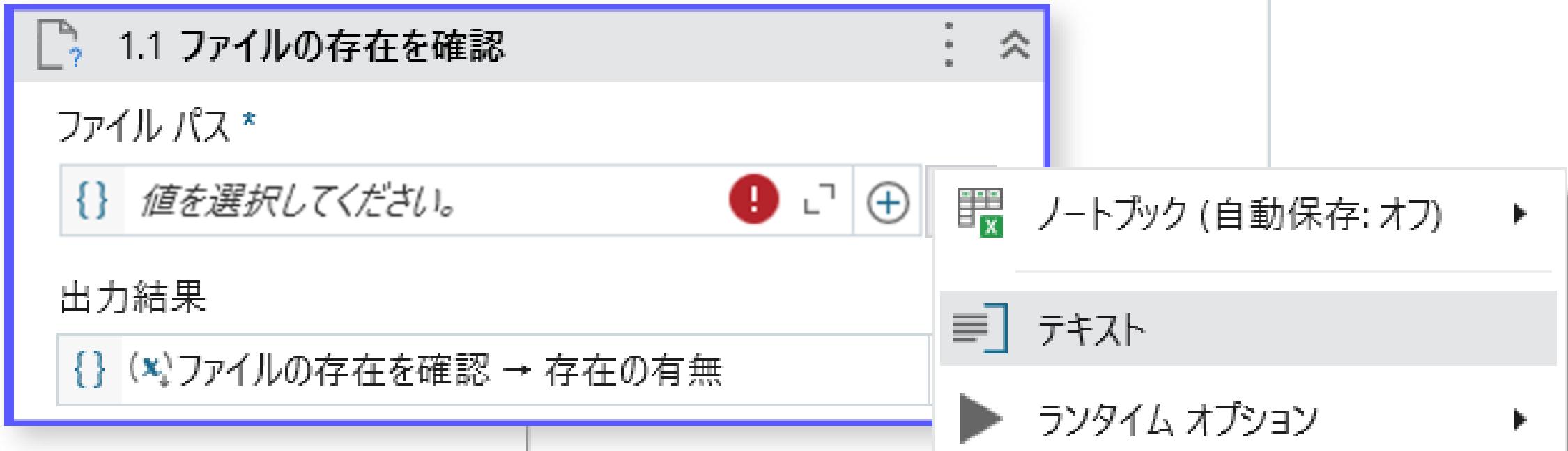
アクティビティパネルで「グループ」を検索、
デザイナーパネルにドラッグ＆ドロップします。
(グループの名前を「URLからファイルをダウンロード」に変更)



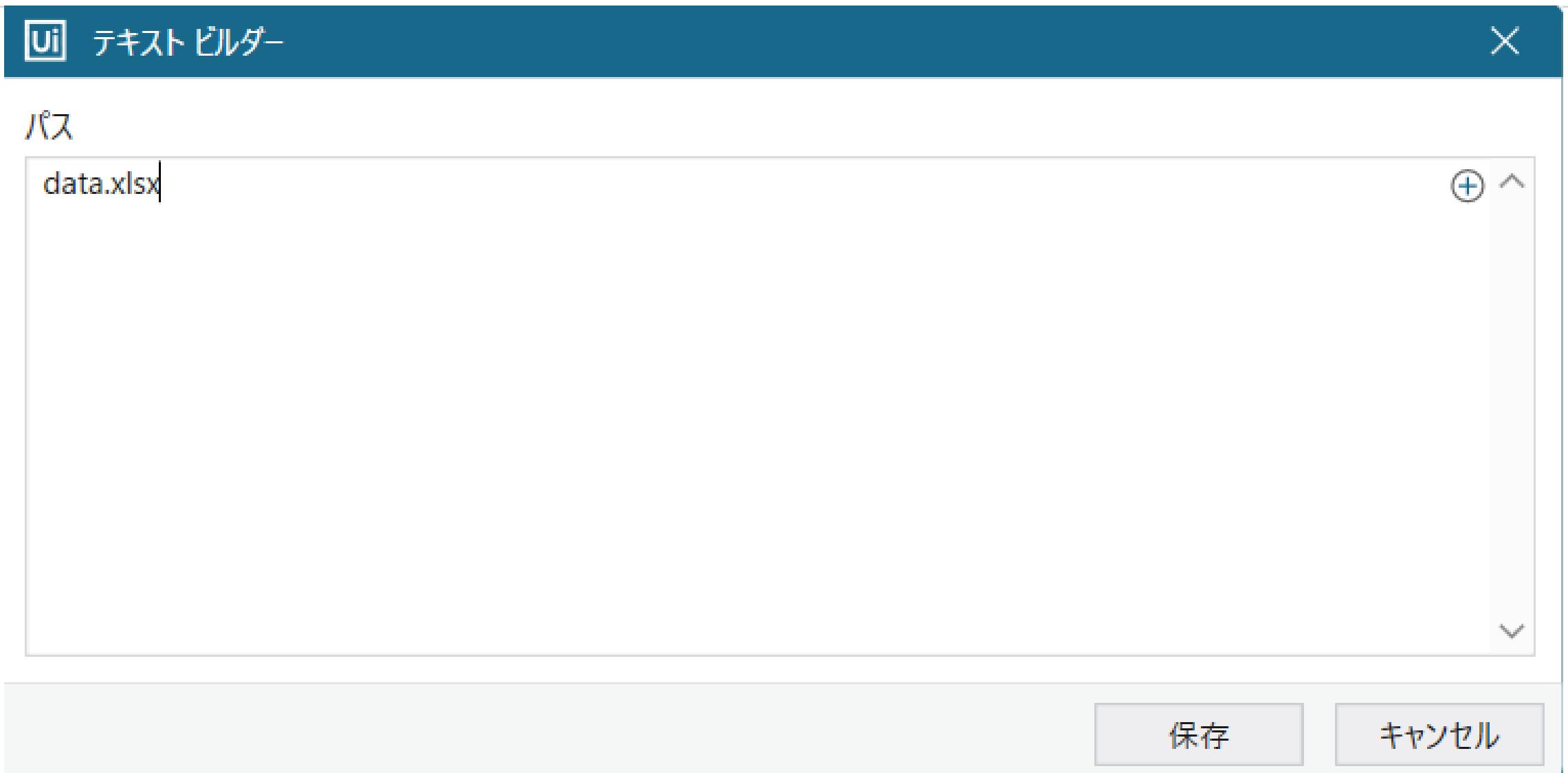
アクティビティパネルで「ファイルの存在を確認」を検索、
「グループ」の中にドラッグ&ドロップします。



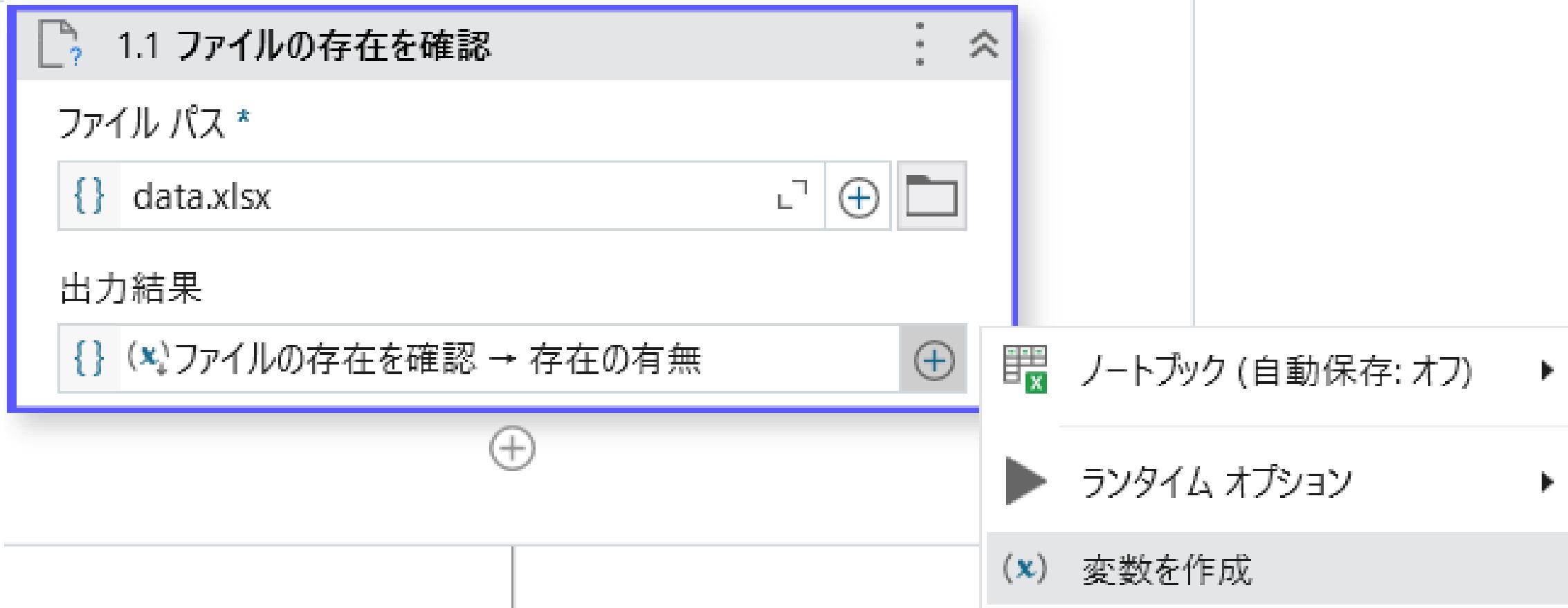
「ファイルパス」で  をクリック、
「テキスト」を選択します。



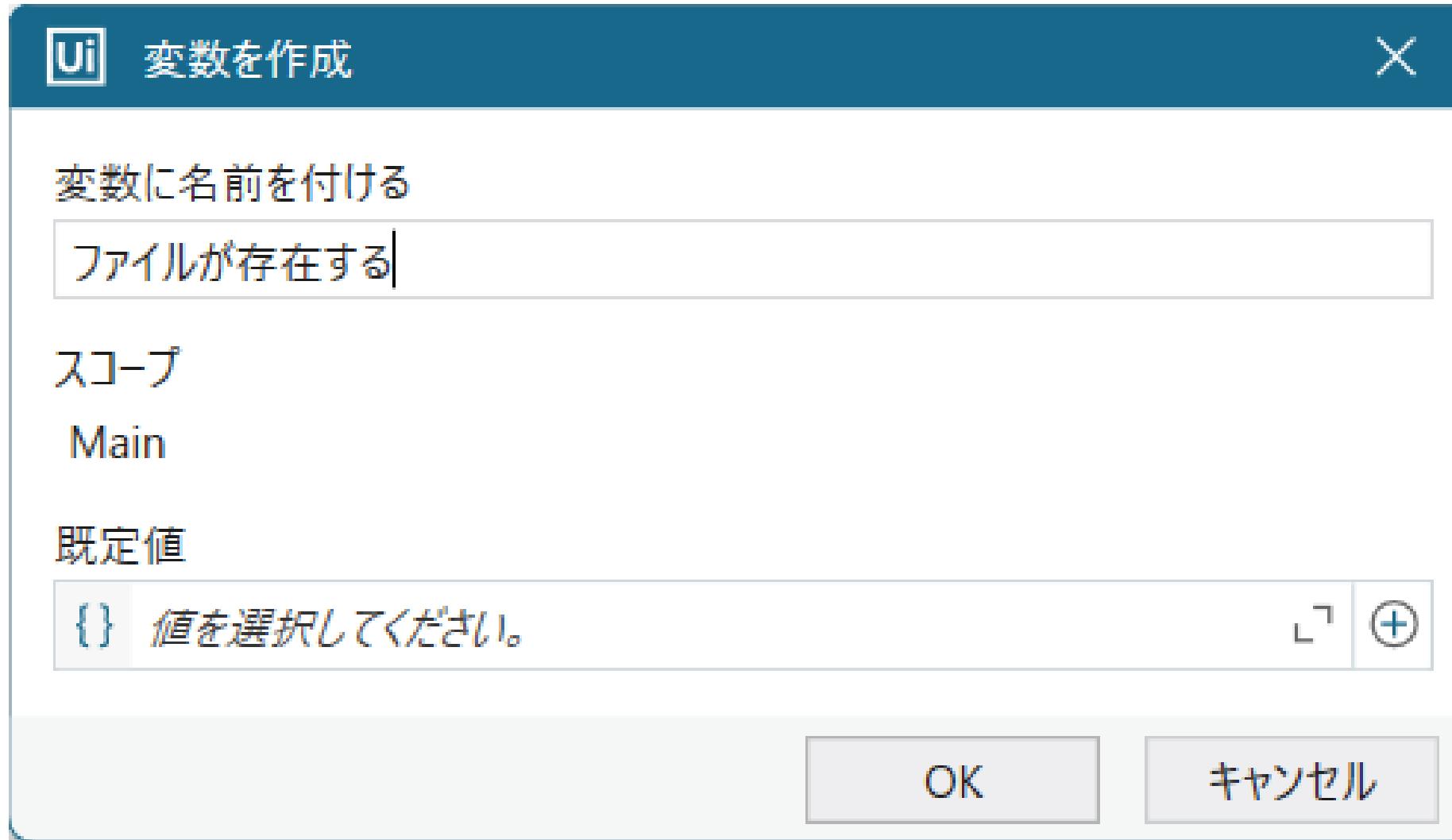
「data.xlsx」を入力、
「保存」をクリックします。



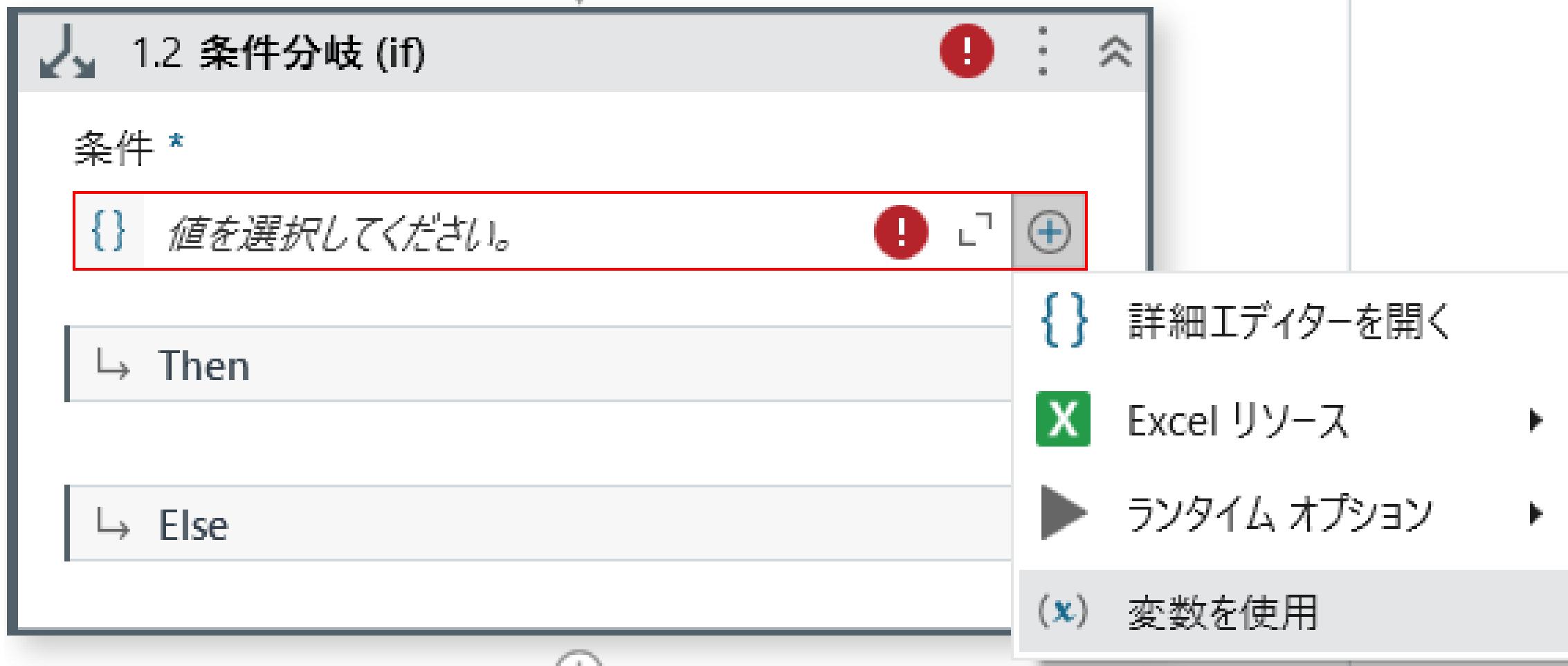
「出力結果」で  をクリック、
「変数を作成」を選択します。



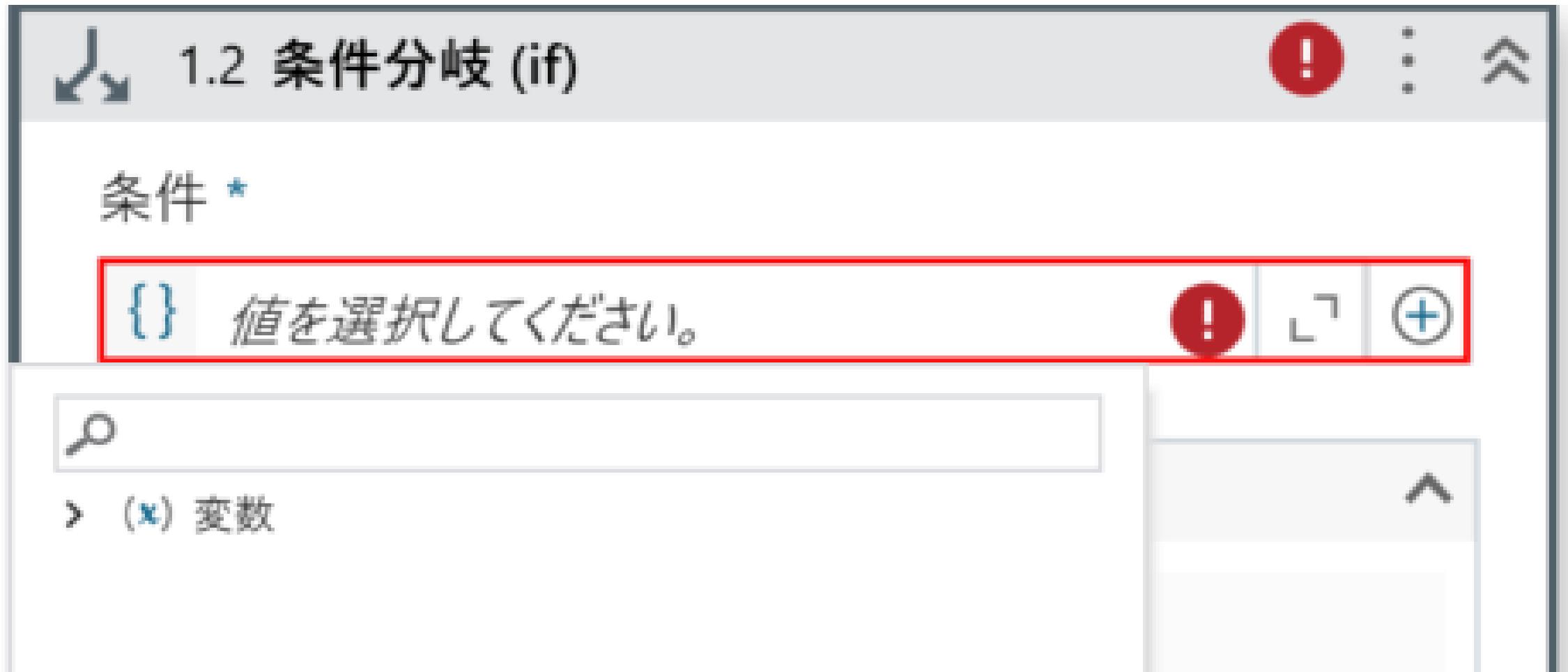
「変数に名前を付ける」に「ファイルが存在する」を入力、
「OK」をクリックします。



アクティビティパネルで「条件分岐 (if)」を検索、
「ファイルの存在を確認」の下にドラッグ&ドロップします。
「条件」で  をクリック、
「変数を使用」を選択します。



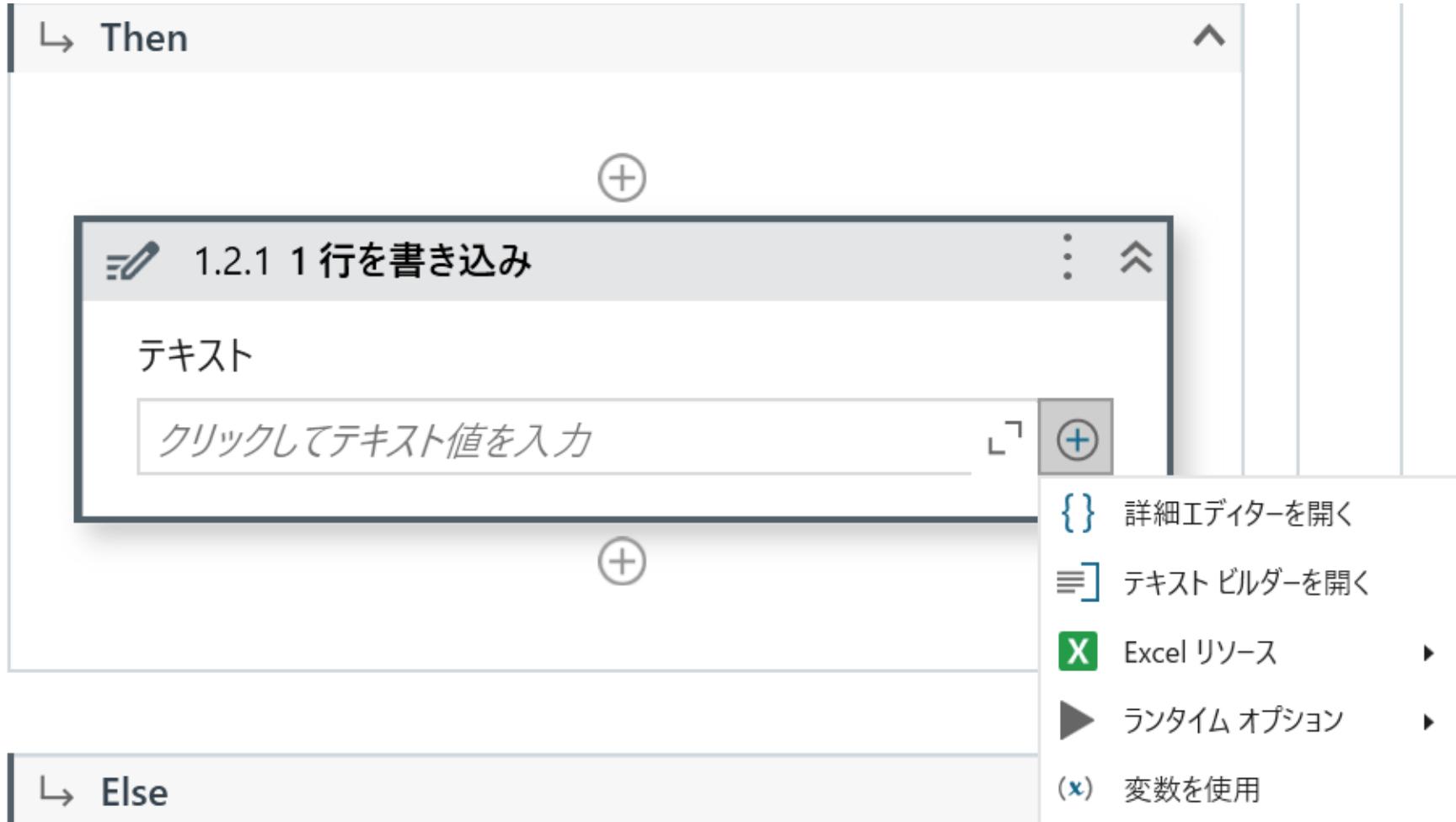
変数の>をクリックします



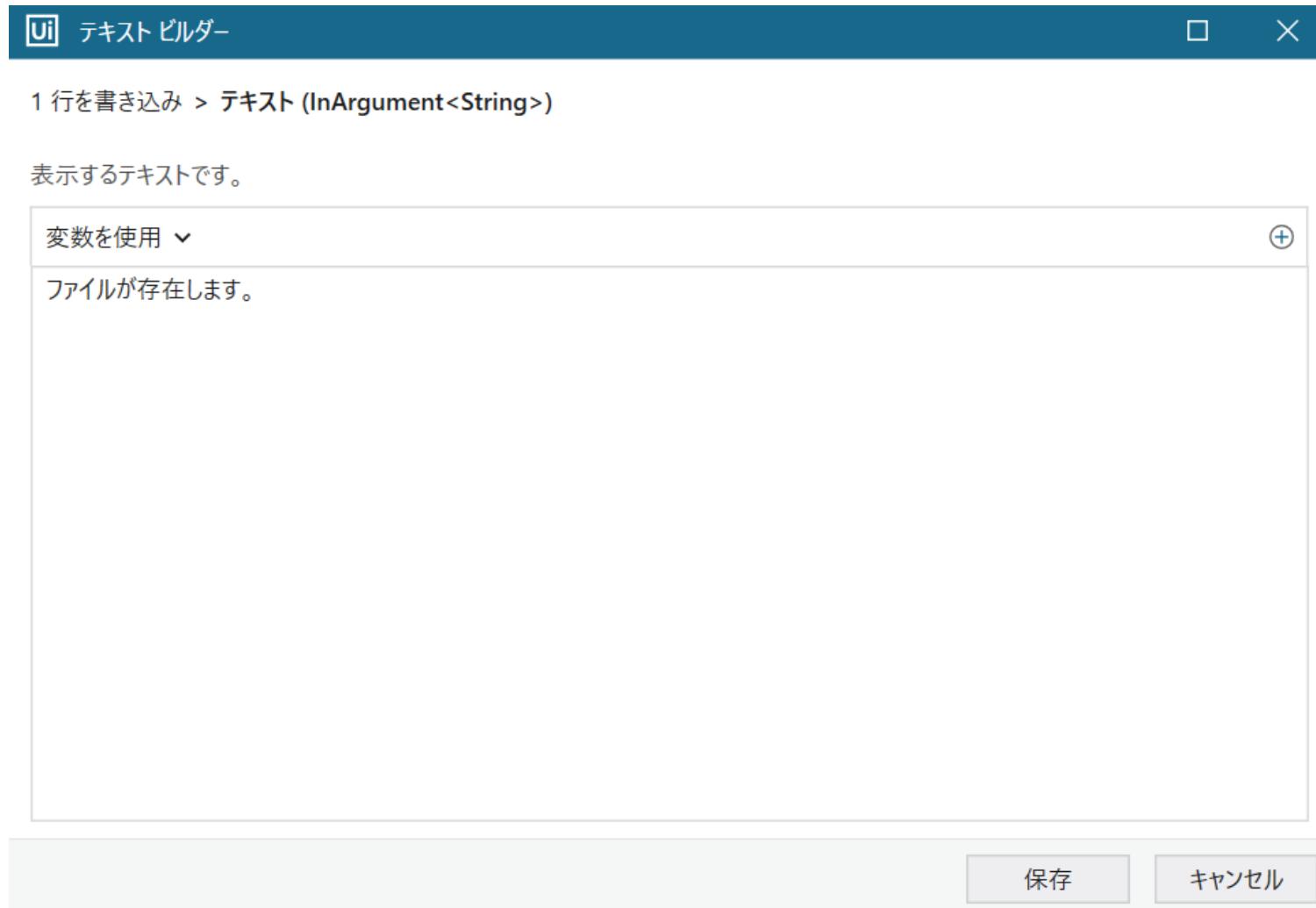
変数「ファイルが存在する」を選択します。

The screenshot shows a software interface with a title bar "1.2 條件分岐 (if)" and various control icons. Below the title, there is a field labeled "条件 *". Inside this field, a red box highlights the placeholder text "{} 値を選択してください。" (Select a value). To the right of this placeholder are three buttons: a red exclamation mark button, a left arrow button, and a plus sign button. Below the input field is a search bar with a magnifying glass icon and a dropdown menu labeled "(x) 変数" which contains the option "(x) ファイルが存在する".

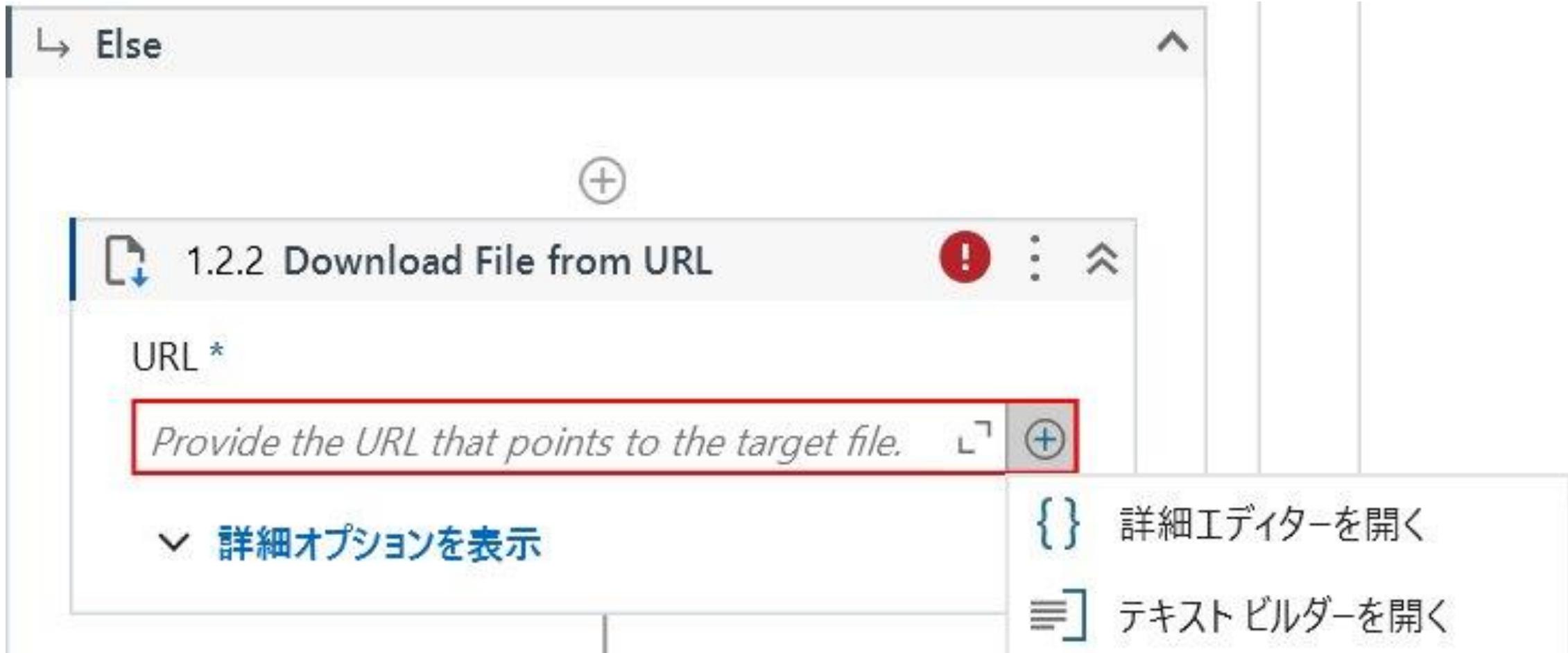
アクティビティパネルで「1行を書き込み」を検索、
「Then」の中にドラッグ&ドロップします。
「テキスト」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



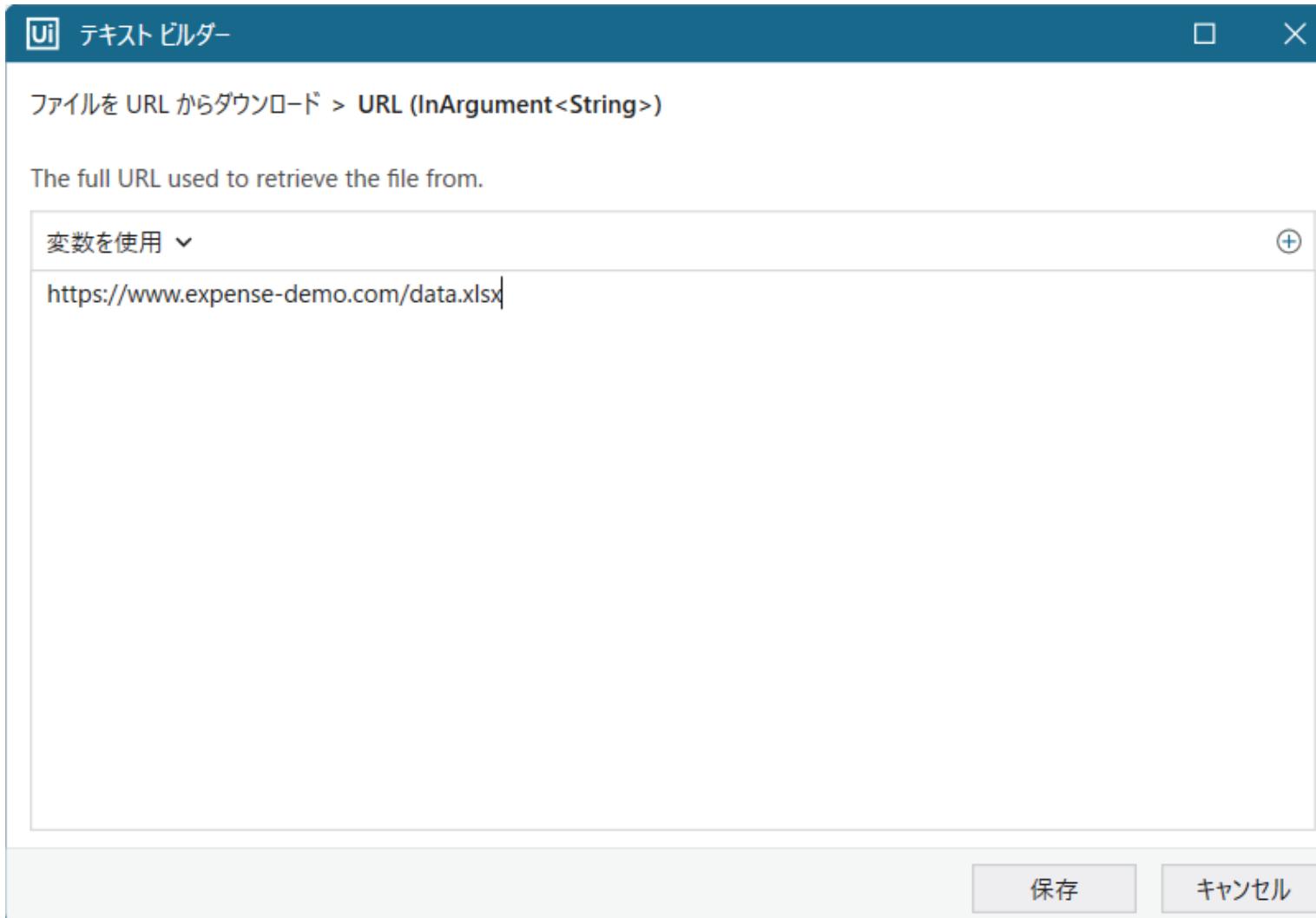
「テキストビルダー」に「ファイルが存在します。」を入力します。



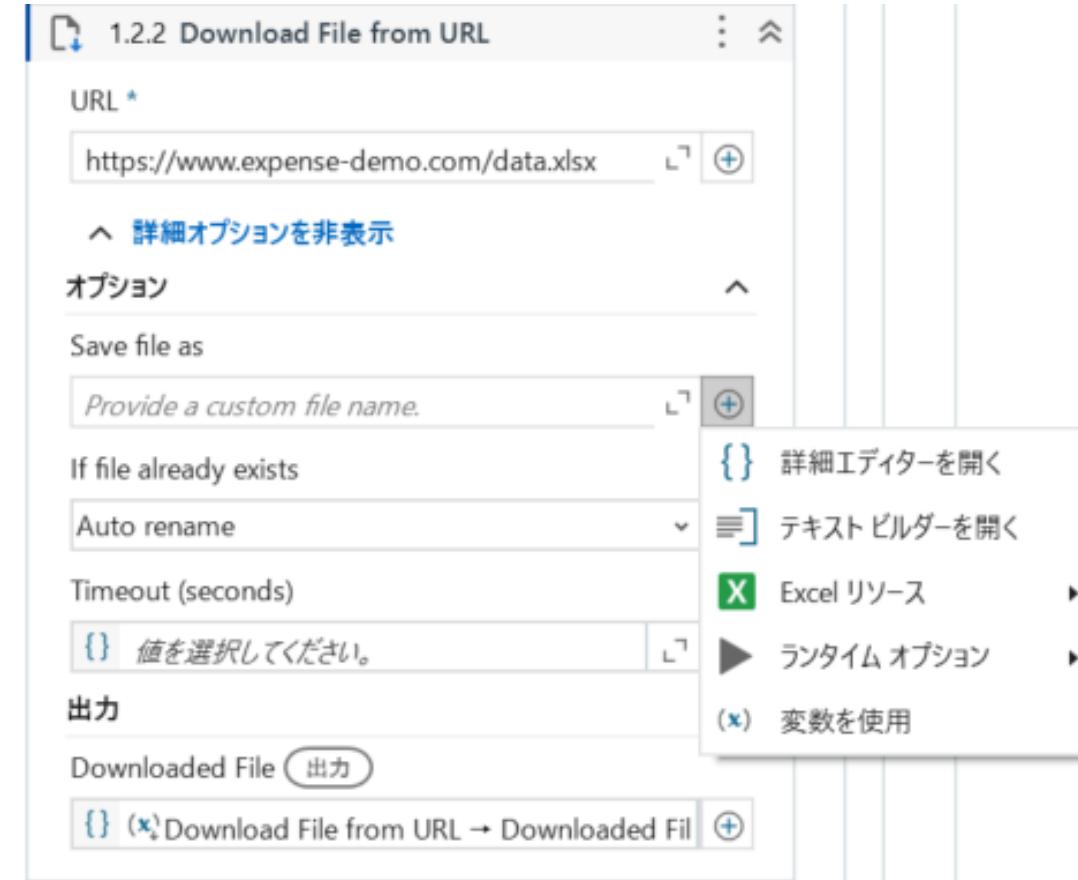
アクティビティパネルで「Download File from URL」を検索、
「Else」の中にドラッグ&ドロップします。
「URL」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



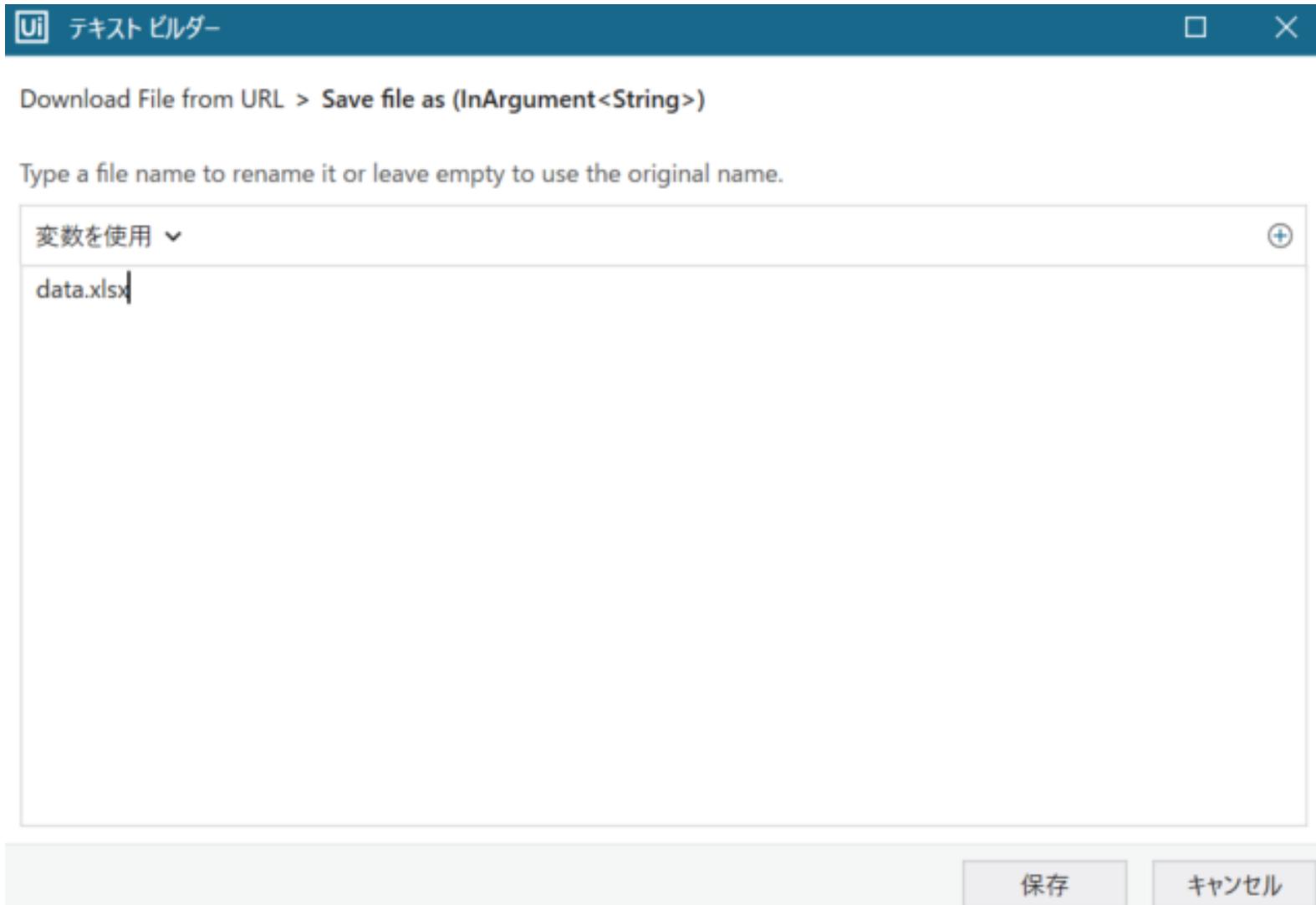
「The full URL used to retrieve the file from.」に
「<https://www.expense-demo.com/data.xlsx>」を入力、
「保存」をクリックします。



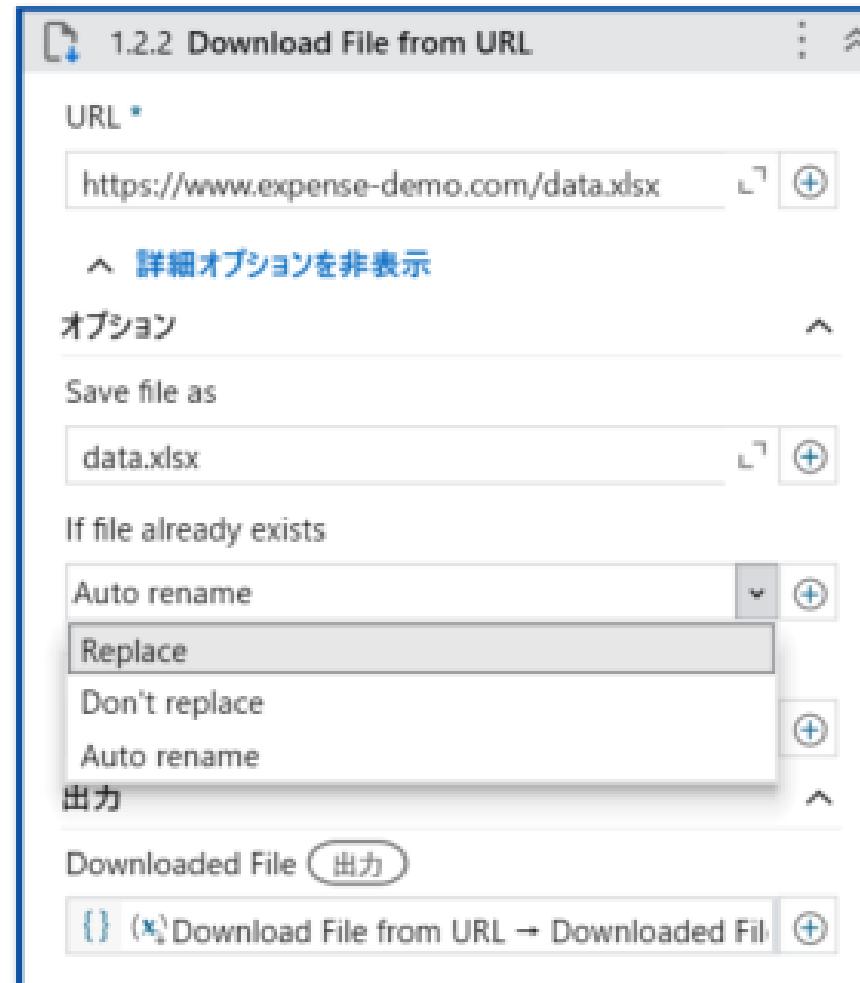
詳細オプションを表示をクリックし、
「Save file As」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



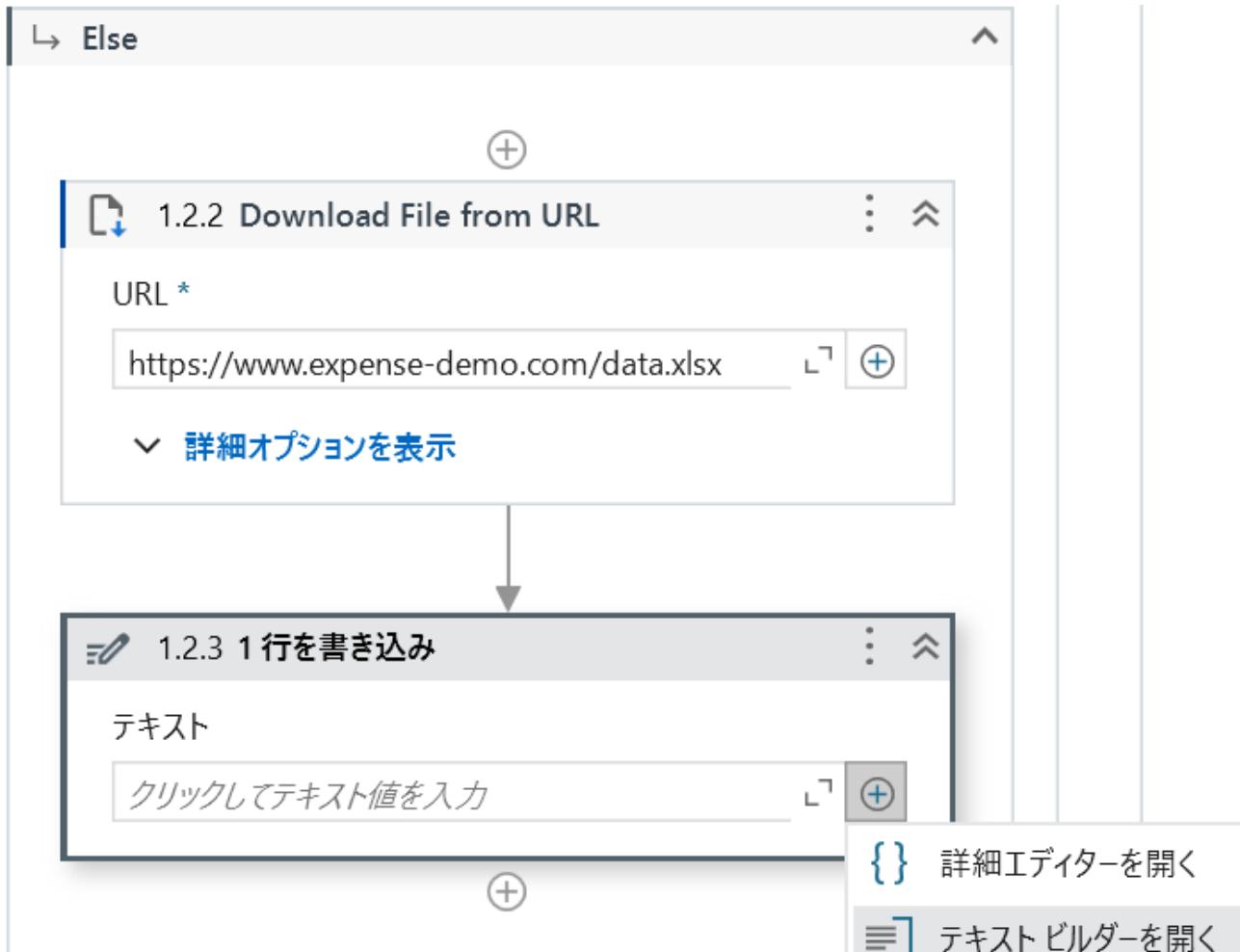
テキストビルダーに「data.xlsx」を入力、
保存をクリックします。



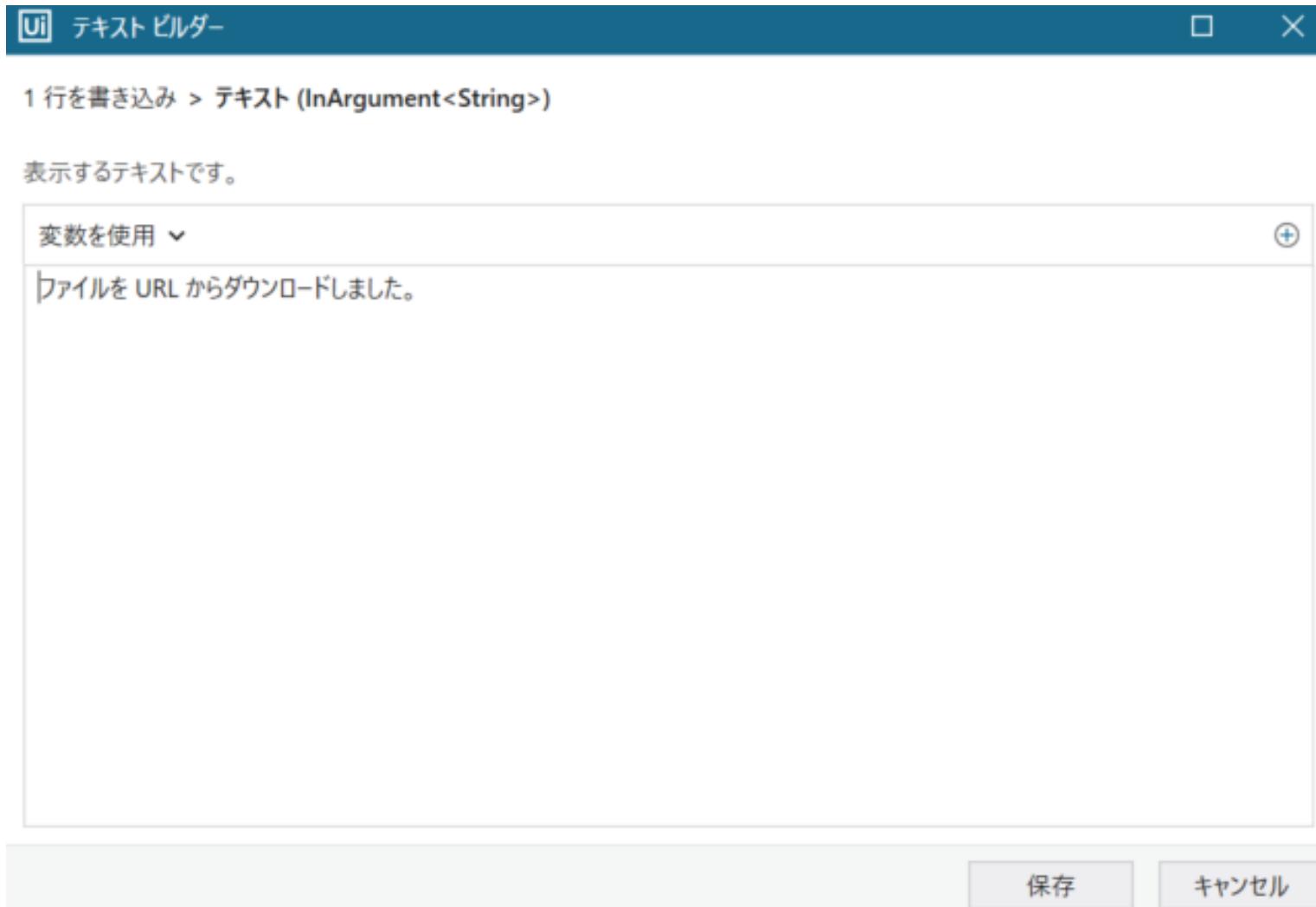
「If file already exists」の右端「▼」をクリックし、
「Replace」を選択します。



アクティビティパネルで「1行を書き込み」を検索、
「Download File from URL」の下にドラッグ&ドロップします。
「テキストビルダー」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



「テキストビルダー」に「ファイルを URL からダウンロードしました。」を入力します。

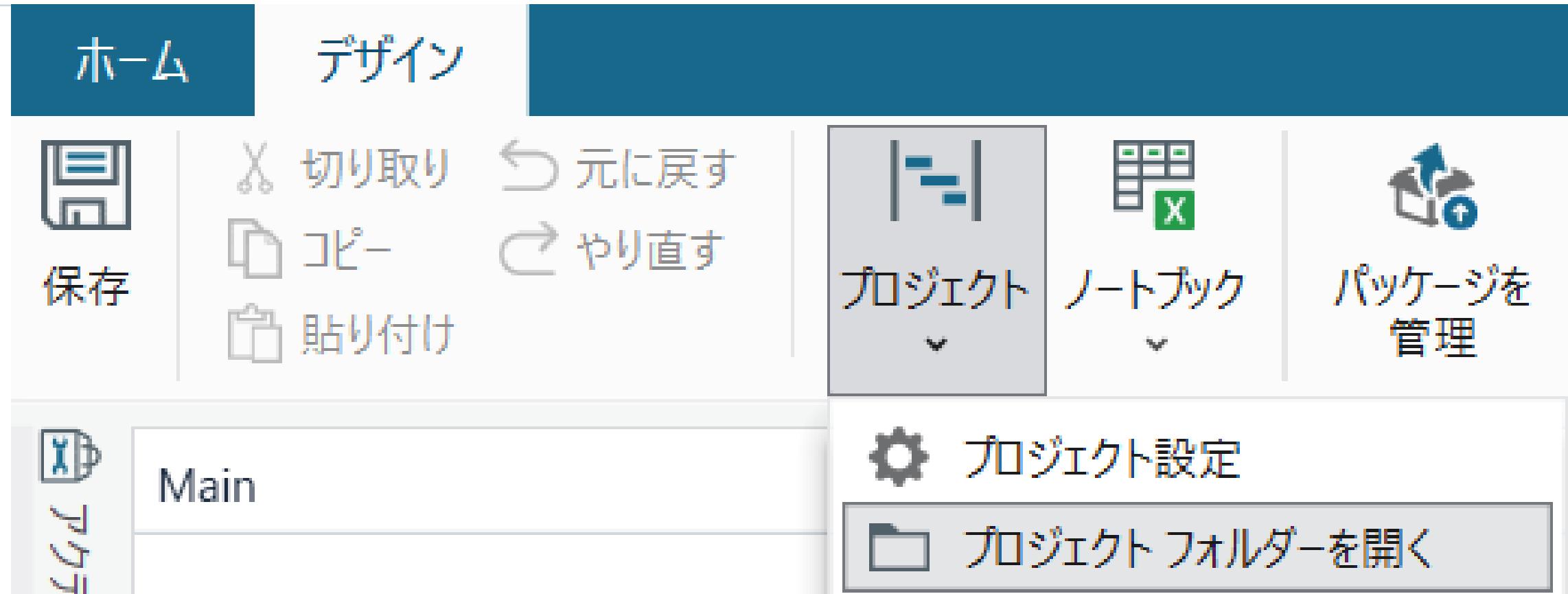


以上で「URLからファイルをダウンロード」パートは完成です。
リボンで「実行」をクリックすると、下記リンク先ビデオのように動作します。

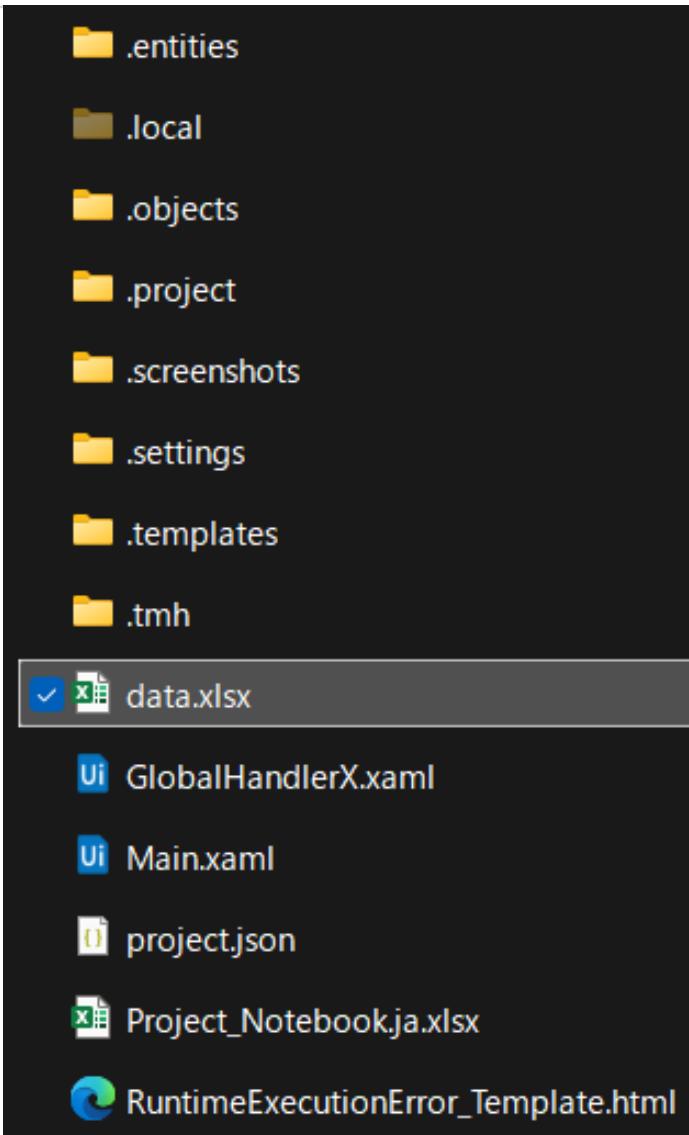


<https://jeragroup.sharepoint.com/sites/Jenny1/Shared%20Documents/General/@共有ファイル/20 教育資料/数分でマスターできる超入門ミニロボ/市民開発サポート要員スキル向上/05 Excelとブラウザ操作/ロボ作成動画/作成動画② 事前準備.mp4>

リボンで「プロジェクト」「プロジェクトフォルダーを開く」をクリックします。

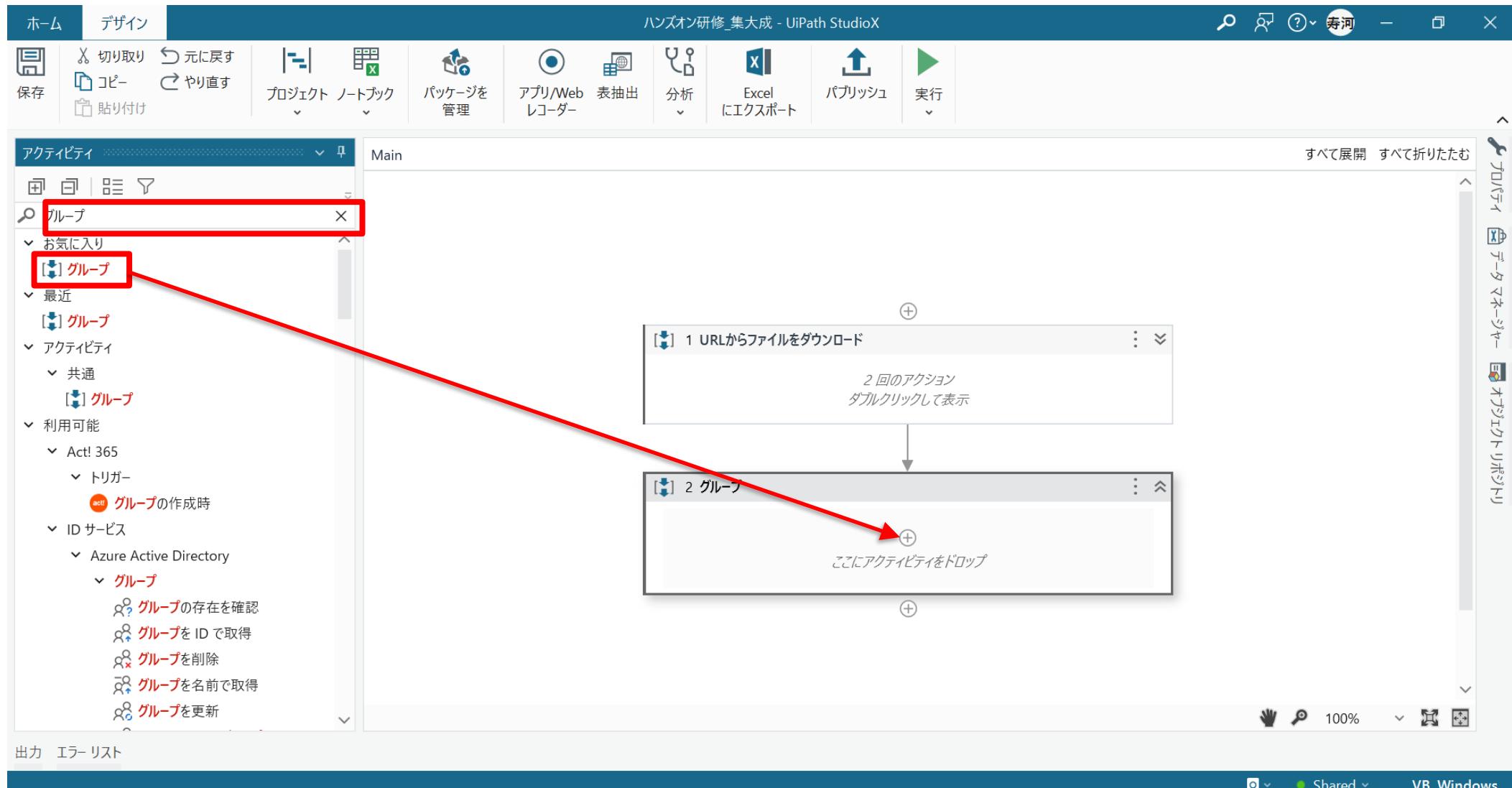


「data.xlsx」ダウンロード成功を確認します。

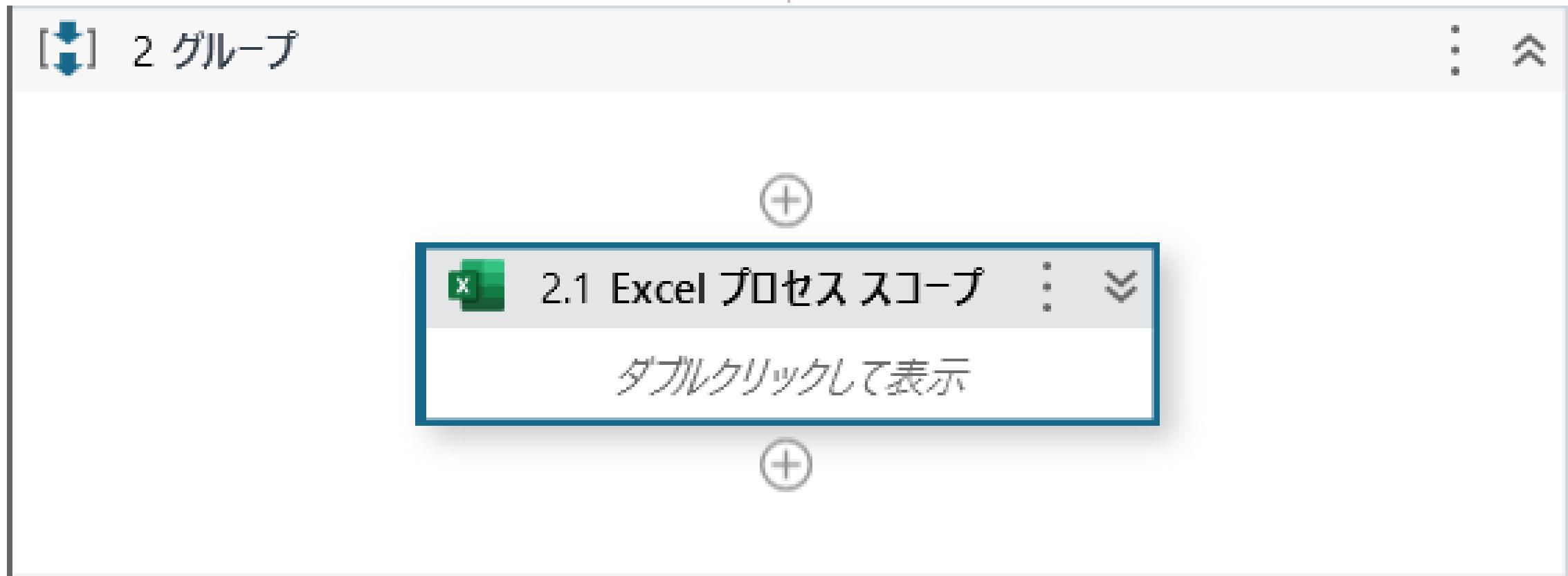


Excelとブラウザ操作

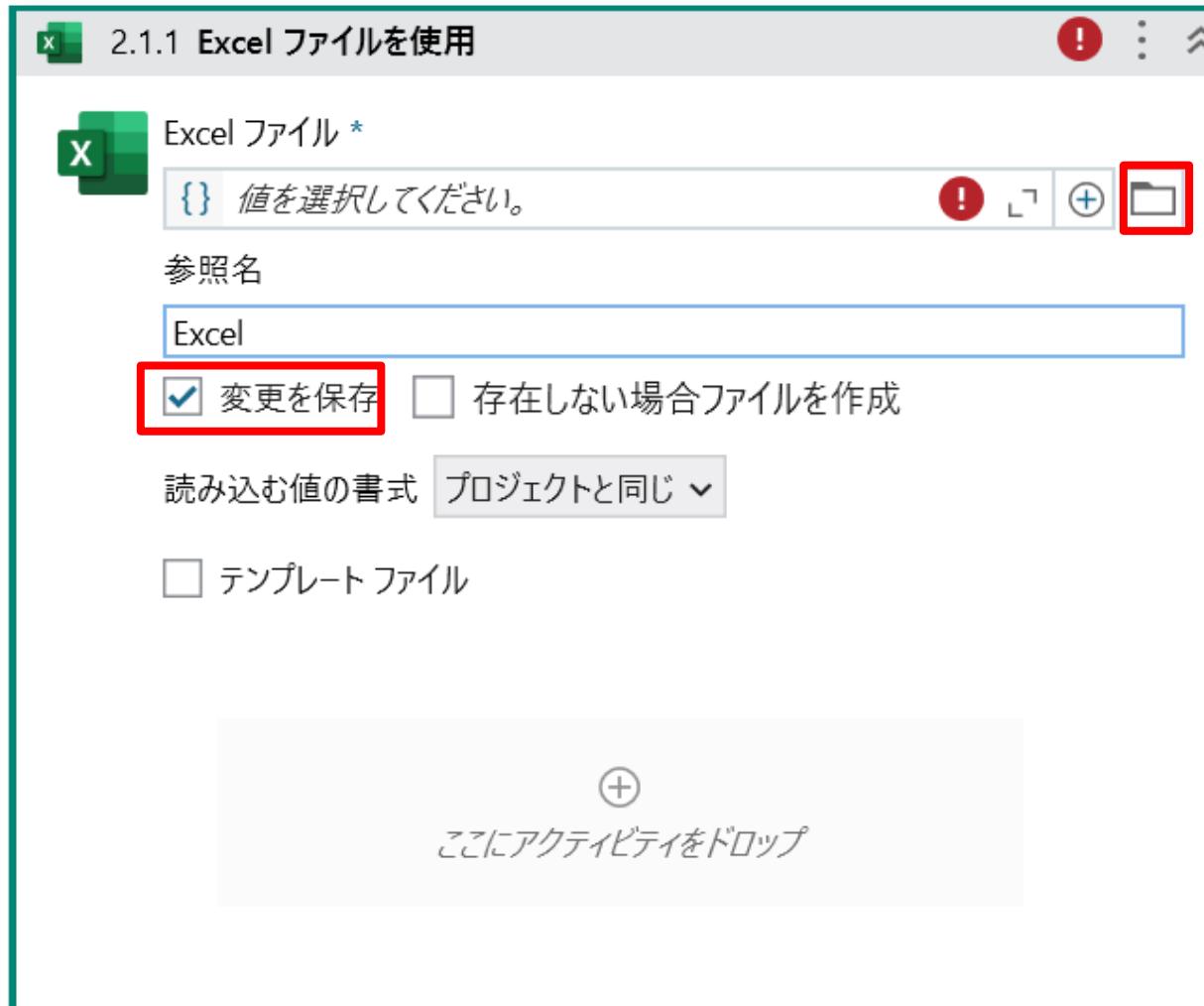
アクティビティパネルで「グループ」を検索、
デザイナーパネルにドラッグ＆ドロップします。
(グループの名前を「Excelとブラウザ操作」に変更)



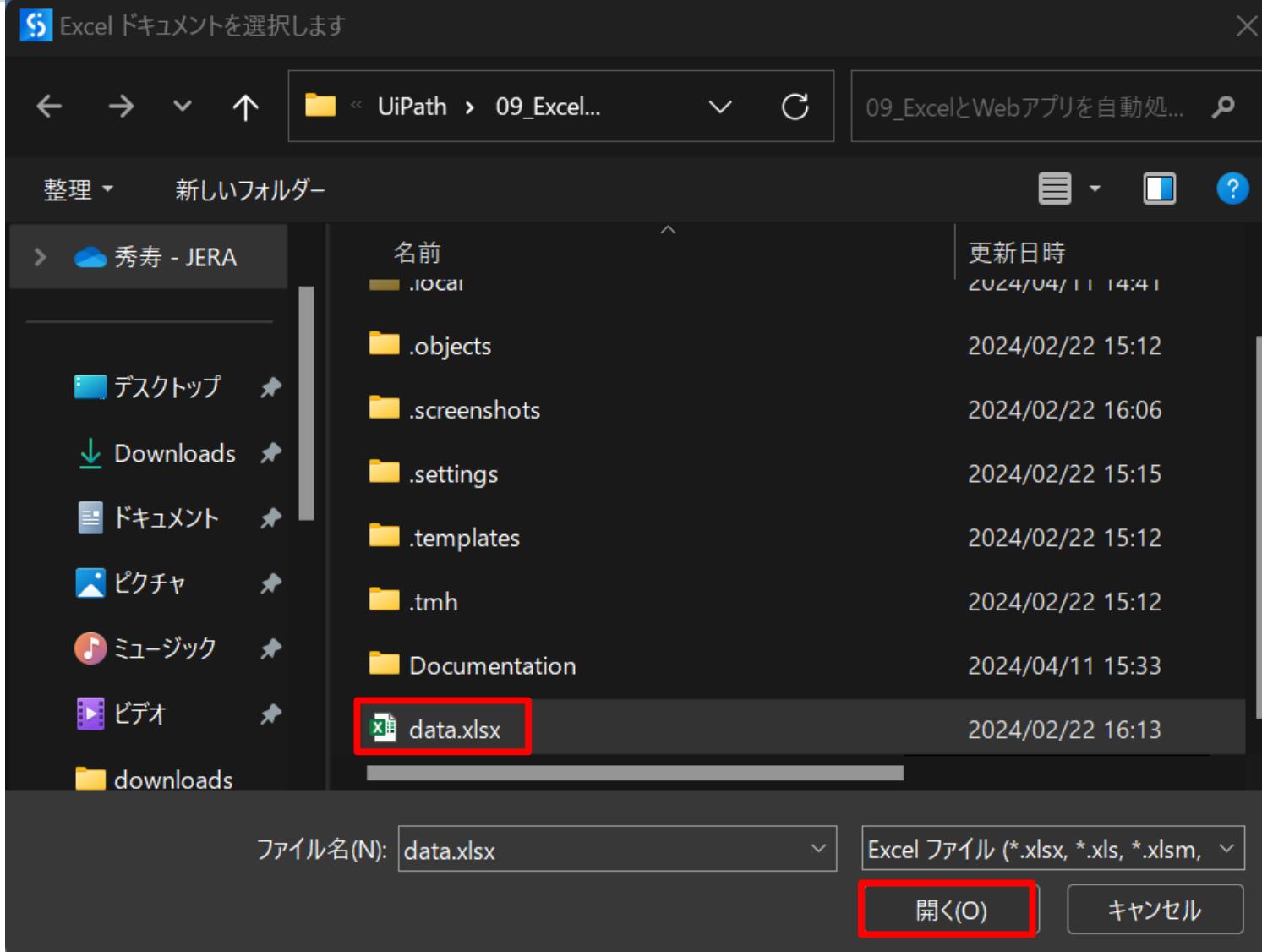
アクティビティパネルで「Excel プロセス スコープ」を検索、
「グループ」の中にドラッグ＆ドロップします。



アクティビティパネルで「Excel ファイルを使用」を検索、
「Excel プロセス スコープ」の中にドラッグ＆ドロップします。
「変更を保存」を☑します。
「ファイルを参照」をクリックします。



「data.xlsx」を選択、
「開く」をクリックします。



「ブラウザEdgeで「<https://www.expense-demo.com/>」を開きます。

The screenshot shows a web browser window with the title 'UiPath Demo' and a sub-menu 'ホーム'. The main content area is titled 'UiPath Demo サイトへようこそ!!' and contains two sections: '経費登録' (Expense Registration) and '経費照会' (Expense Inquiry). The '経費登録' section features a large blue button labeled '経費を登録する' and a link 'サンプルのダウンロード' followed by the text '演習で使用しているエクセルファイルは、こちらからダウンロード可能です。'. The '経費照会' section features a blue button labeled '経費のリストを参照する'.

UiPath Demo ホーム

UiPath Demo サイトへようこそ!!

- 当サイトは、「できるUiPath」の書籍用のウェブサイト自動化の練習用ページとなります
- レッスンで当サイトへ登録した内容は、定期的に削除されます

メニュー

経費登録

[サンプルのダウンロード](#) 演習で使用しているエクセルファイルは、こちらからダウンロード可能です。

[経費を登録する](#)

経費照会

[経費のリストを参照する](#)

アクティビティパネルで「アプリケーション/ブラウザを使用」を検索、「Excel ファイルを使用」の中の「実行」の中にドラッグ&ドロップします。「自動化するアプリケーションを指定」をクリック、Edge 「UiPath Demoサイト」画面を選択します。



プロパティパネルで、
入力モード「シミュレート」を選択します。

The screenshot shows the UiPath Studio interface with the 'Properties' window open for the 'NApplicationCard' activity. The 'Input Mode' dropdown is highlighted with a red box, set to 'Simulate'. Other options like 'Private' and 'Change Window Size' are also visible.

Properties window details:

- Activity: NApplicationCard
- Input Mode: Simulate (highlighted)
- Window Attach Mode: Application Instance
- Window Size Change: None
- Open Action: Select
- Close Action: Select
- Output Mode: Select
- WebDriver Mode: Select
- Secret/Private Window: Select
- User Data Folder Path: Select
- User Data Folder Mode: Select
- Input: TargetApp

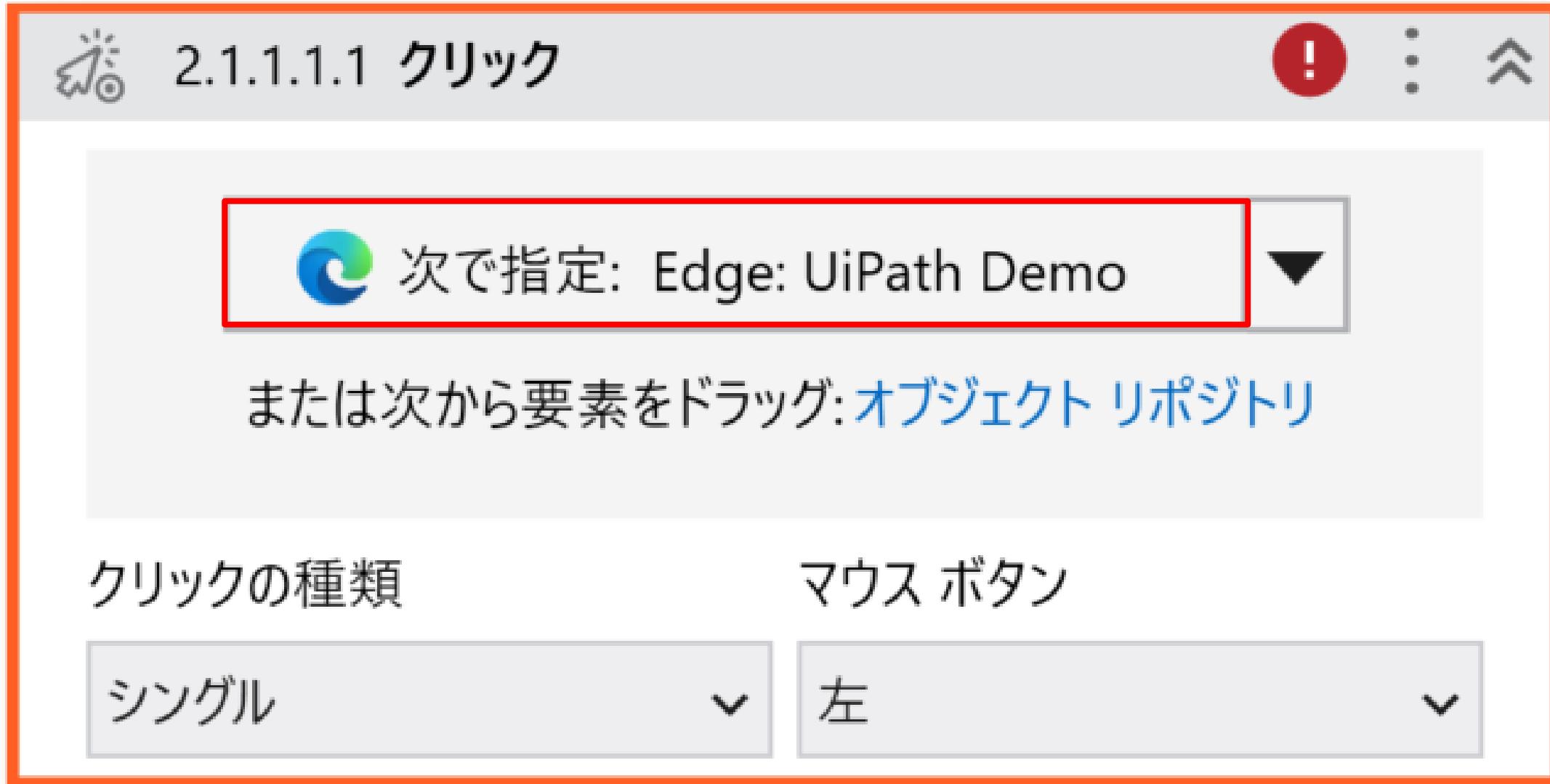
プロパティパネルで、
ウィンドウサイズの変更「最大化」、
オープン動作「Always」、クローズ動作「Always」を選択します。

The screenshot shows the UiPath Studio interface with the Properties panel open for an `NApplicationCard` activity. The left side displays a preview window for a Microsoft Edge browser instance, and the right side shows the properties configuration.

Properties Panel (Right Side):

- Misc:**
 - 最大化 (Maximize) - Set to `NAppOpenMode.Always`
 - クローズ動作 (Close Mode) - Set to `NAppCloseMode.Always`
- オプション - ブラウザー (Browser Options):**
 - WebDriver モード (WebDriver Mode)
 - シークレット/プライベート ウィンドウ (Secret/Private Window)
 - ユーザー データ フォルダー パス (User Data Folder Path)
 - ユーザー データ フォルダー モード (User Data Folder Mode)
- 入力 (Input):**
 - 統合アプリケーション ターゲット (Integrated Application Target) - Set to `TargetApp`

アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「ブラウザーを使用」の中にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。



Edge 「UiPath Demoサイト」画面で、「経費を登録する」をターゲットとして選択します。



「経費登録」をアンカーとして選択、
「確認」をクリックします。

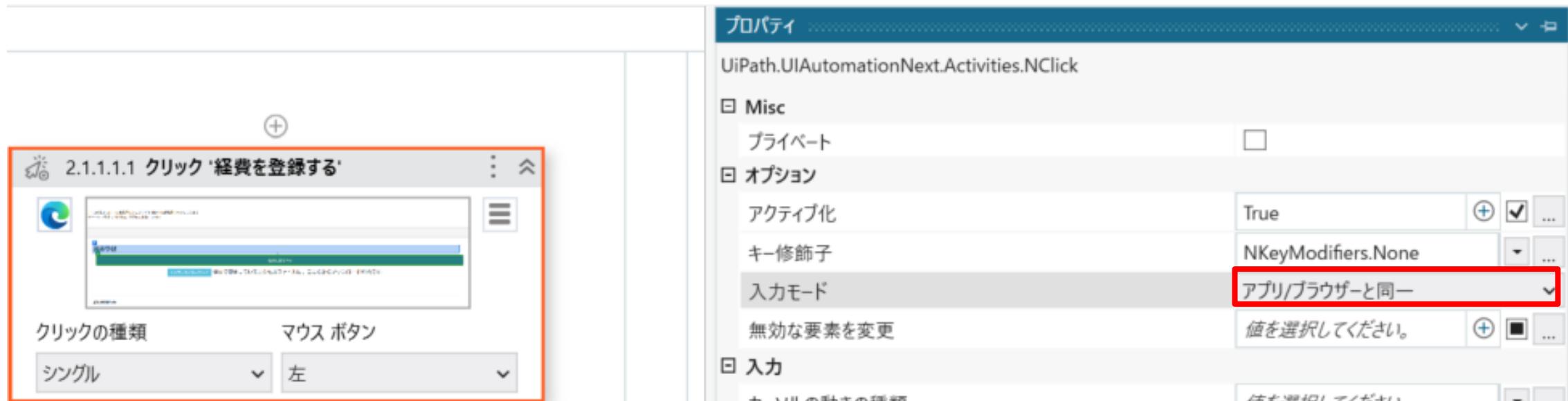
The screenshot shows the homepage of the 'UiPath Demo' website. At the top, there is a navigation bar with 'UiPath Demo' and 'ホーム' (Home) buttons. Below the navigation bar, the main content area has a heading 'UiPath Demo サイトへようこそ!!' and a list of bullet points:

- 当サイトは、「できるUiPath」の書籍用のウェブサイト自動化の練習用ページとなります
- レッスンで当サイトへ登録した内容は、定期的に削除されます

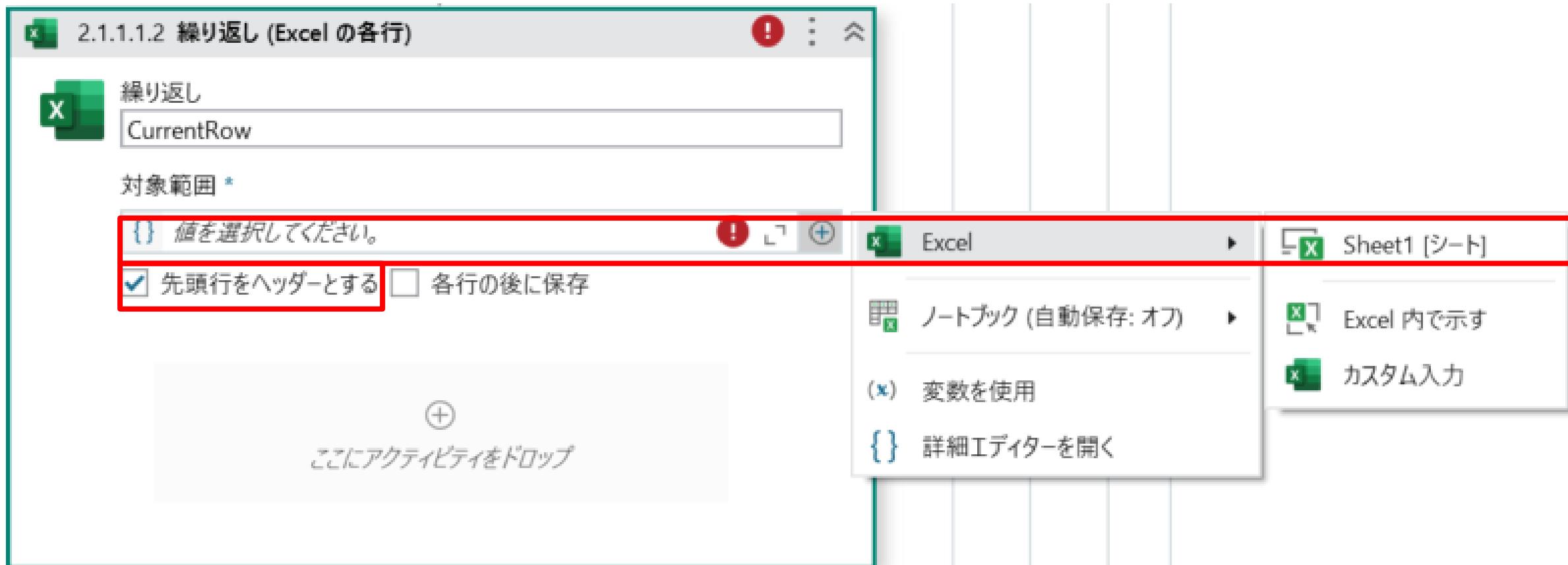
On the right side of the page, a '選択オプション' (Selection Options) dialog box is open. It contains several icons and text: '一時停止' (Temporary Stop), 'G' (Grid icon), 'T' (Text icon), 'TI' (Image icon), '自動' (Automatic), 'ターゲットおよびアンカーが検出されました' (Target and anchor detected), 'Enterキーを押して確定してください' (Please press the Enter key to confirm), 'Computer Vision が有効化されています' (Computer Vision is enabled), and 'すべての CV 要素を表示' (Display all CV elements). At the bottom of the dialog are three buttons: '検証' (Verify), '確認' (Confirm), and 'キャンセル' (Cancel).

The main content area features a 'メニュー' (Menu) section with a '経費登録' (Expense Registration) button, which is highlighted with a blue selection bar. Below this is a green button labeled '経費を登録する' (Register expense). Further down, there is a blue button labeled 'サンプルのダウンロード' (Download sample) and a message: '演習で使用しているエクセルファイルは、こちらからダウンロード可能です' (You can download the Excel file used for practice from here). At the bottom of the page, there is another blue button labeled '経費のリストを参照する' (View expense list).

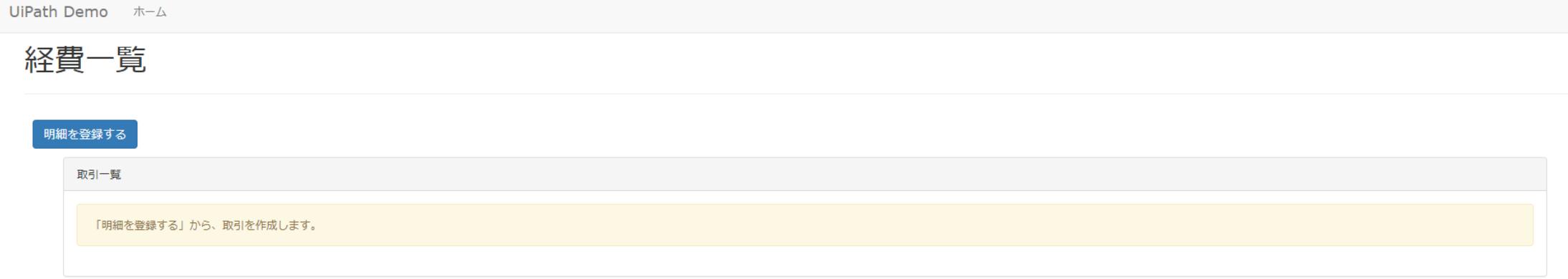
プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。



アクティビティパネルで「繰り返し (Excel の各行)」を検索、
「クリック '経費を登録する'」の下にドラッグ&ドロップします。
「先頭行をヘッダーとする」を☑します。
「対象範囲」で  をクリック、
「Excel」「Sheet1[シート]」を選択します。

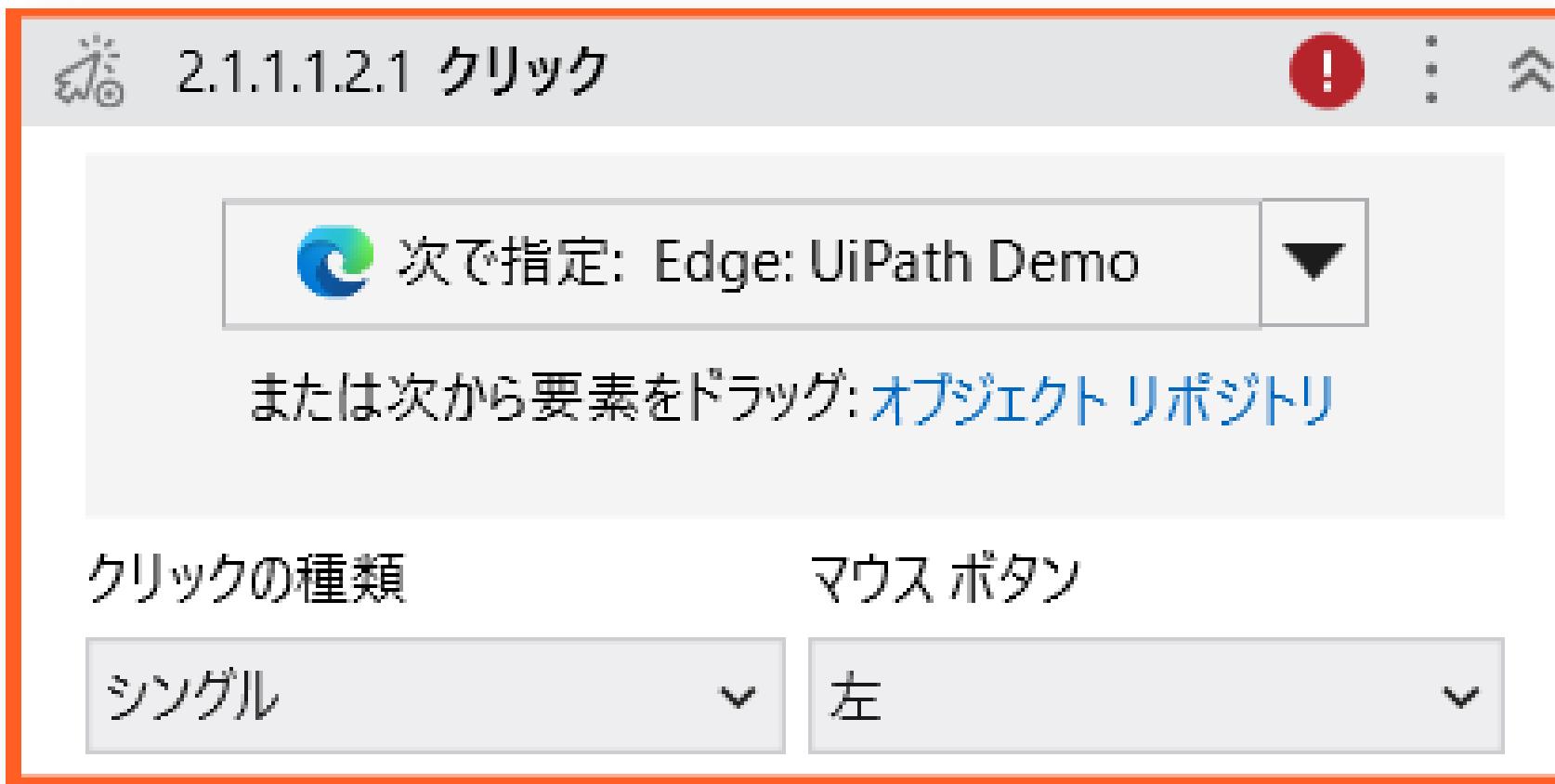


Edge 「UiPath Demoサイト」で、
「経費を登録する」をクリック（図の画面に遷移）します。

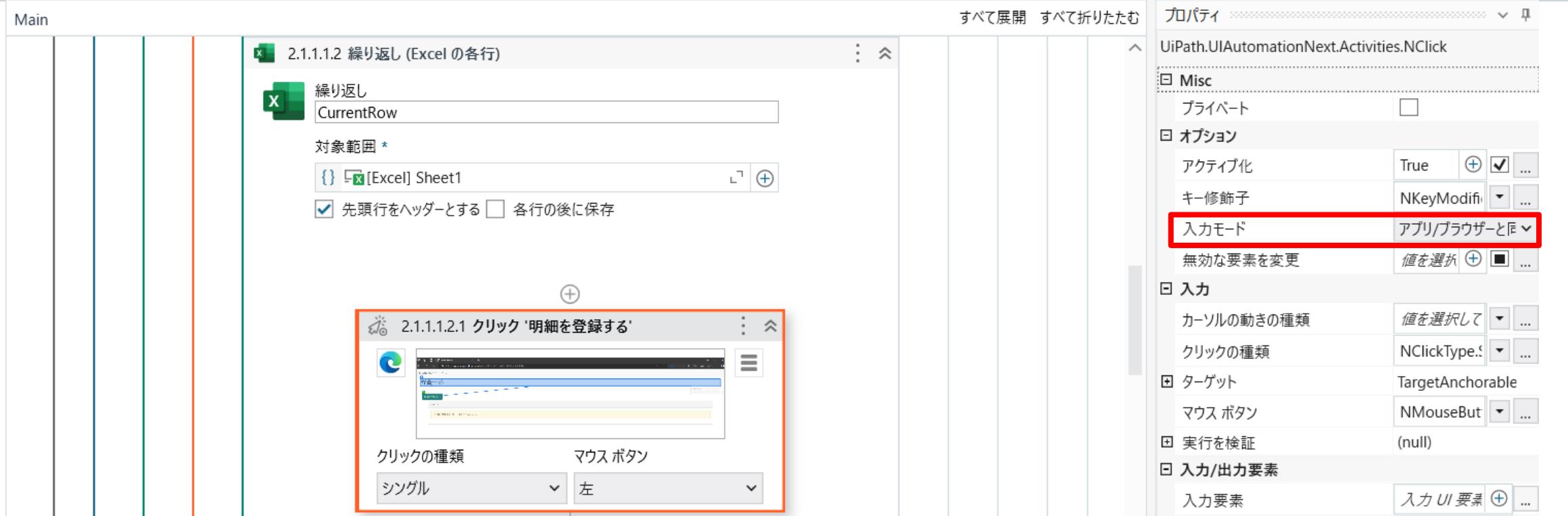


アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「繰り返し (Excel の各行)」の中にドラッグ＆ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「明細を登録する」、
アンカー「経費一覧」を選択します。



プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。



Edge 「UiPath Demoサイト」で、
「明細を登録する」をクリック（図の画面に遷移）します。

The screenshot shows a web-based expense registration form titled '経費登録'. The form consists of four input fields: 'タイトル*' (Title*), '種別*' (Type*), '金額*' (Amount*), and '備考' (Remarks). Below the form are two buttons: '登録する' (Register) and 'キャンセル' (Cancel).

UiPath Demo ホーム

経費登録

タイトル*

種別*

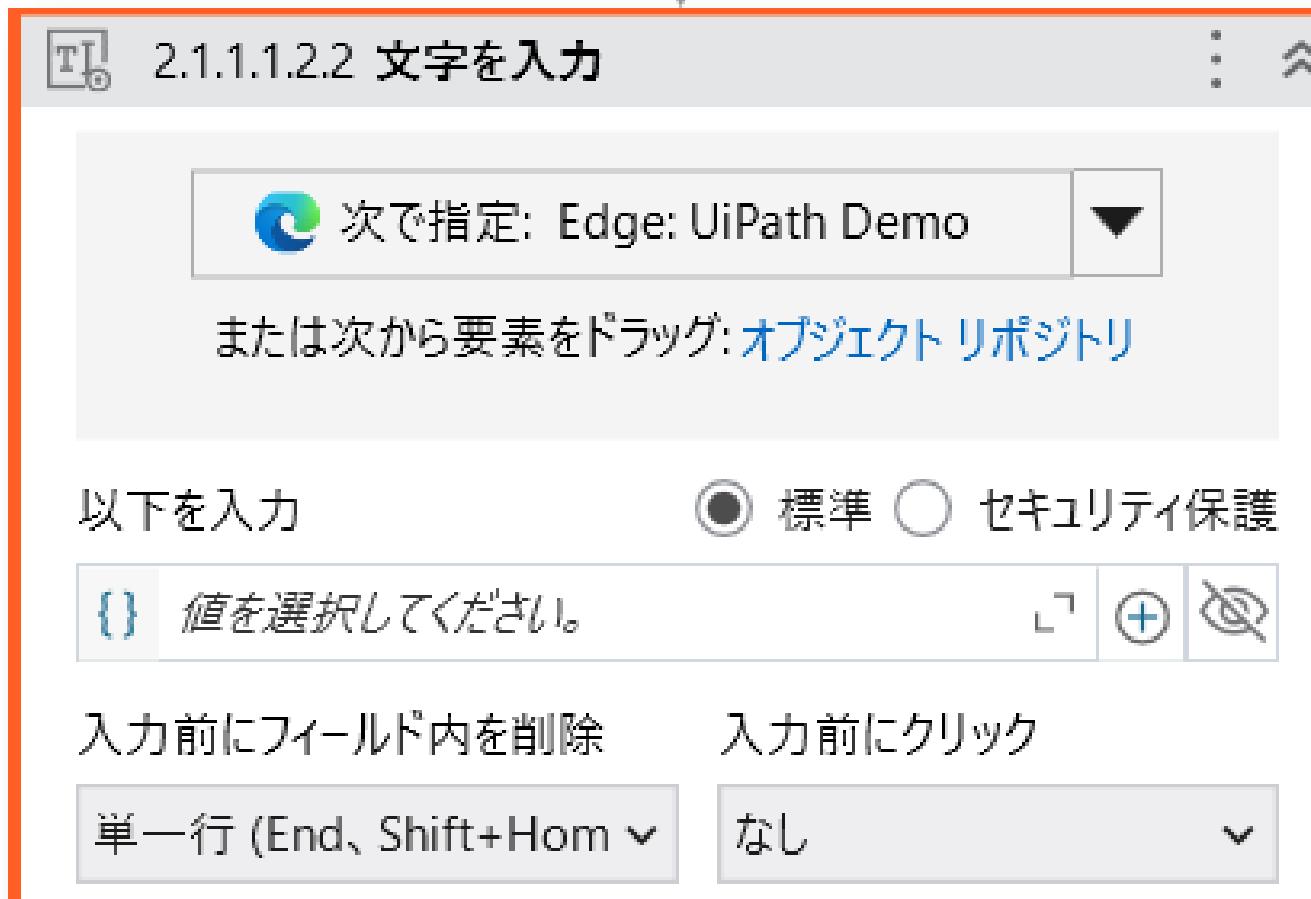
金額*

備考

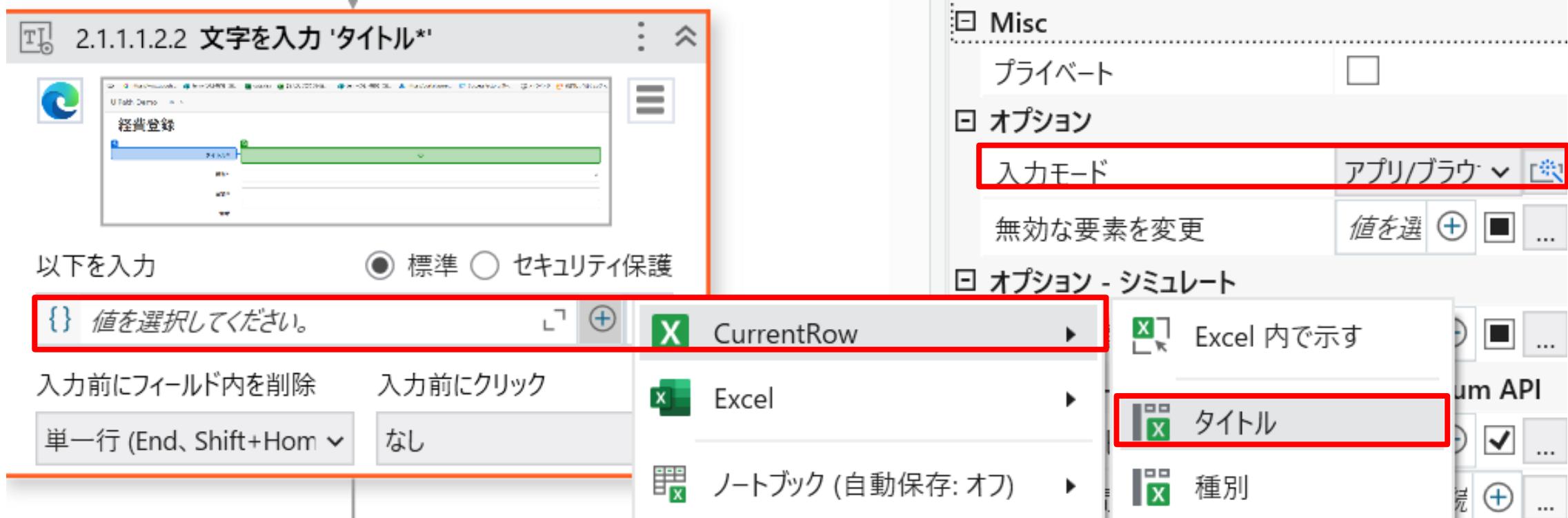
登録する キャンセル

アクティビティパネルで「文字を入力」を検索、
「クリック '明細を登録する'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「タイトル」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「タイトル」を選択します。



プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。
「以下を入力」で をクリック、
「.CurrentRow」 「タイトル」を選択します。

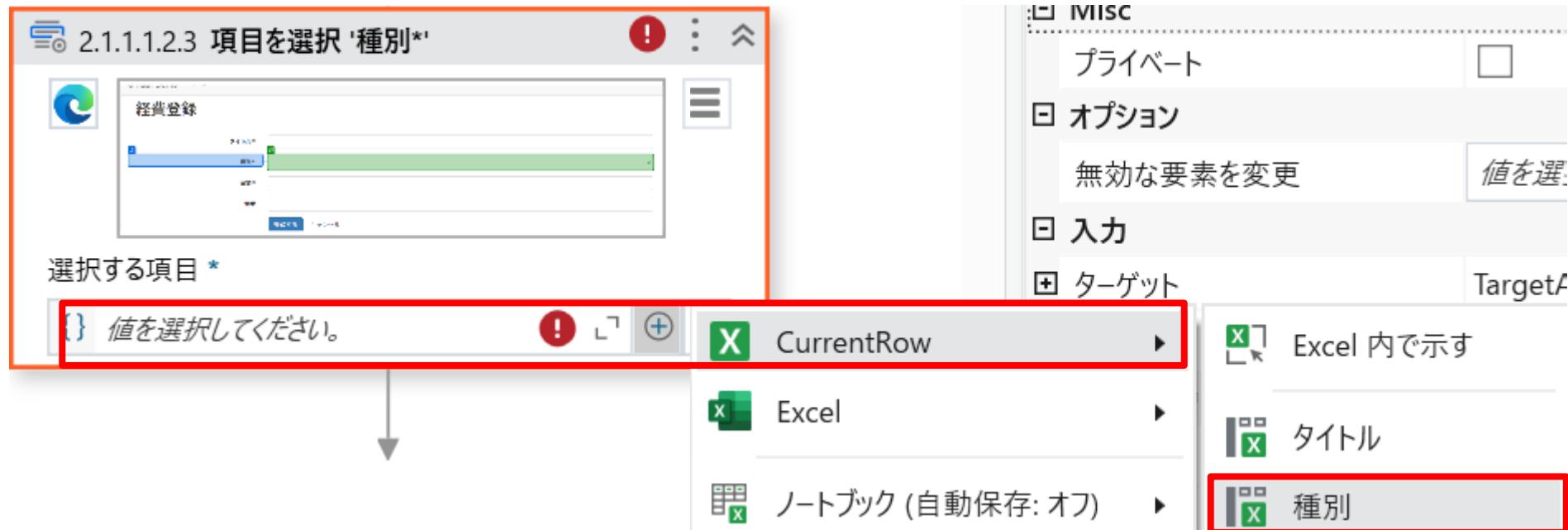


アクティビティパネルで「項目を選択」を検索、
「文字を入力 'タイトル*'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「種別」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「種別」を選択します。

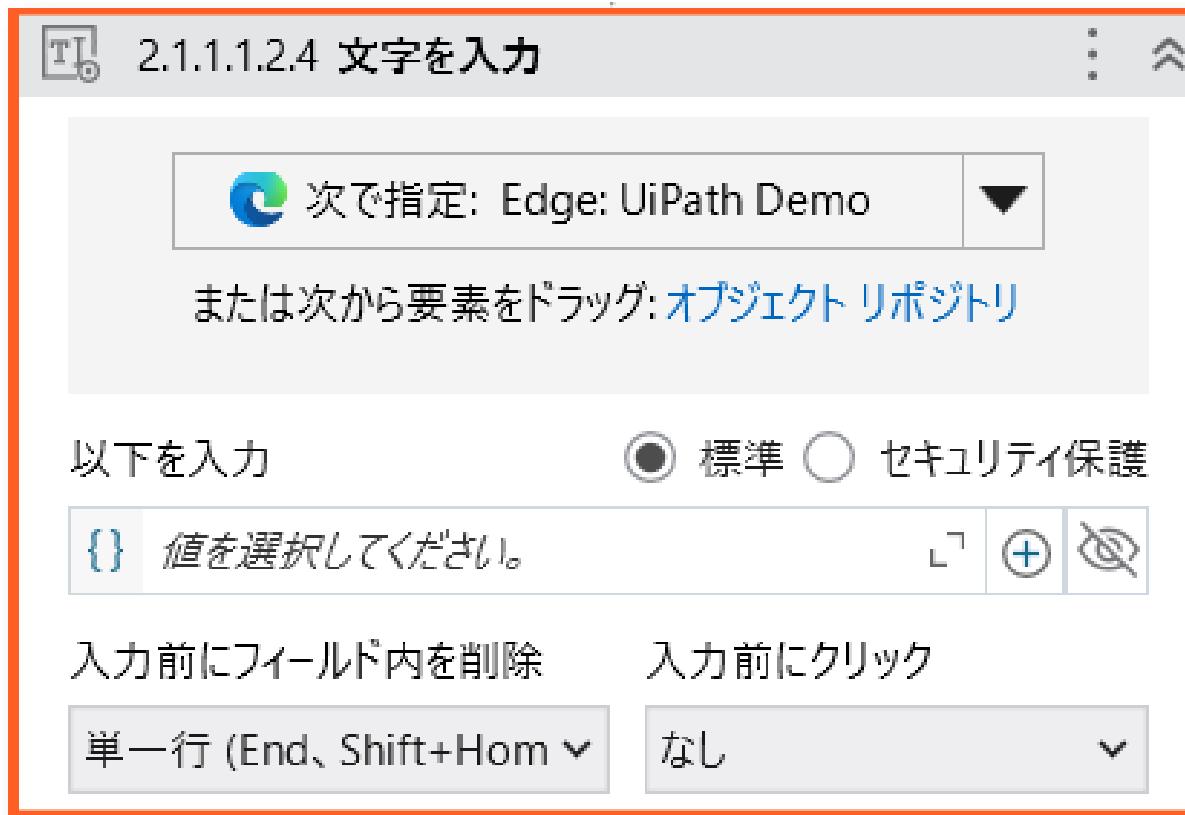


「選択する項目」で をクリック、
「CurrentRow」「種別」を選択します。

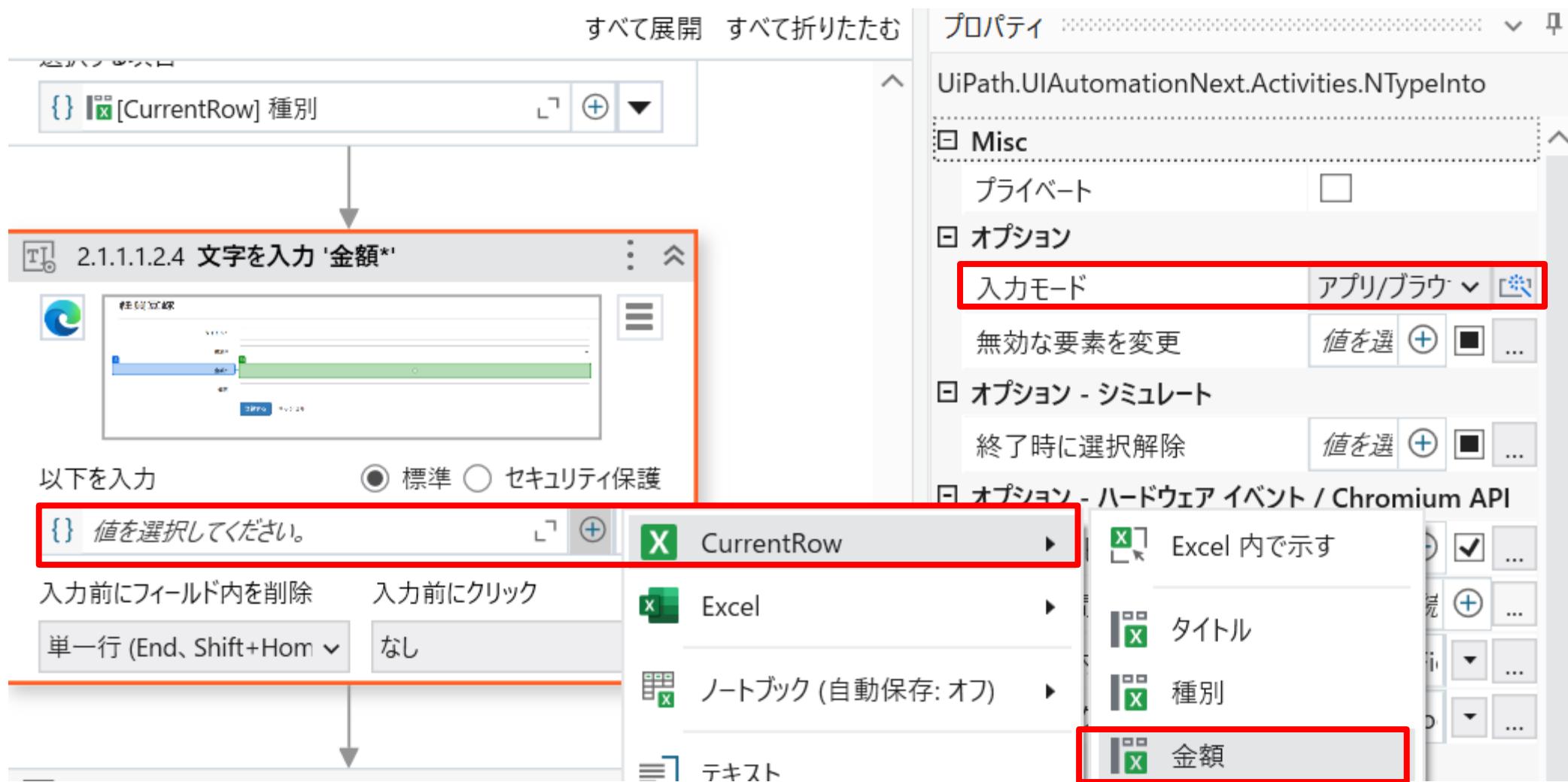


アクティビティパネルで「文字を入力」を検索、
「項目を選択 '種別*'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「金額」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「金額」を選択します。

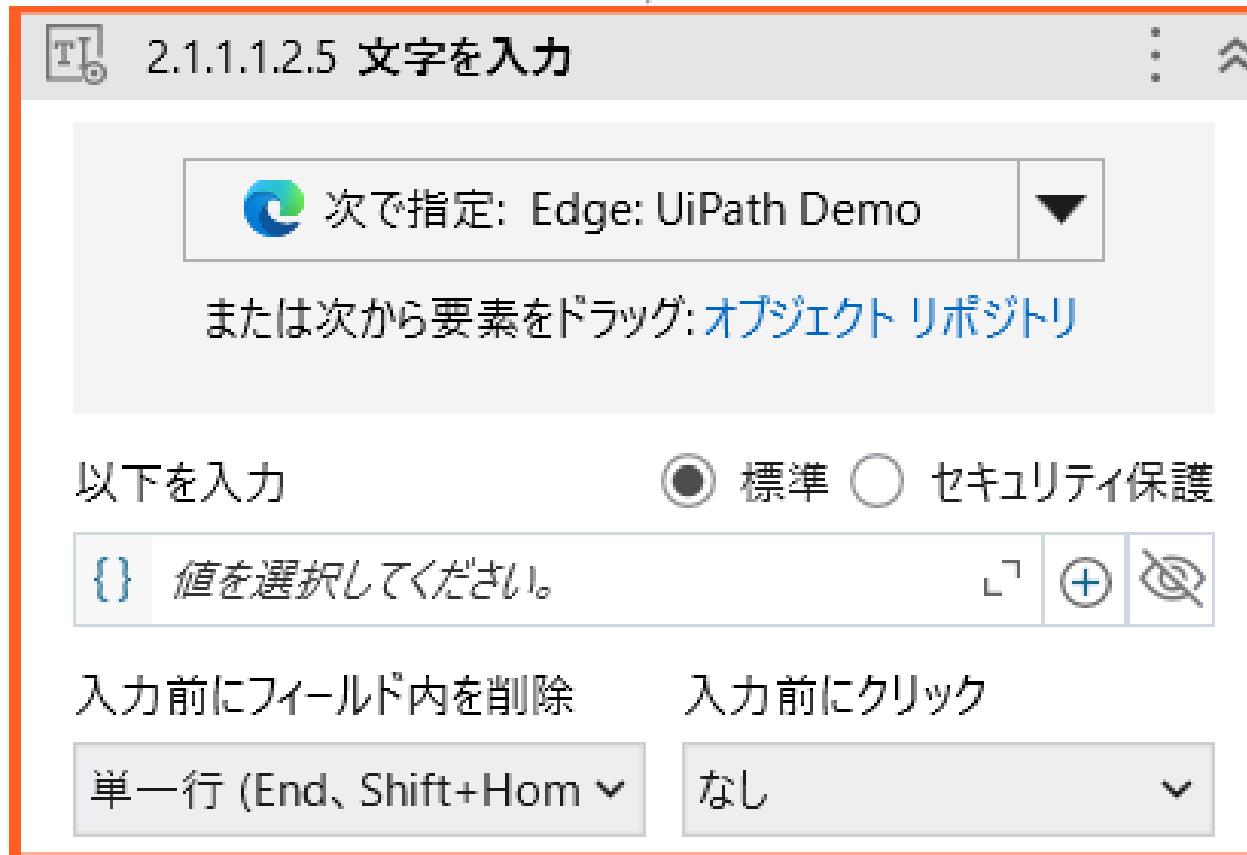


プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。
「以下を入力」で をクリック、
「CurrentRow」「金額」を選択します。

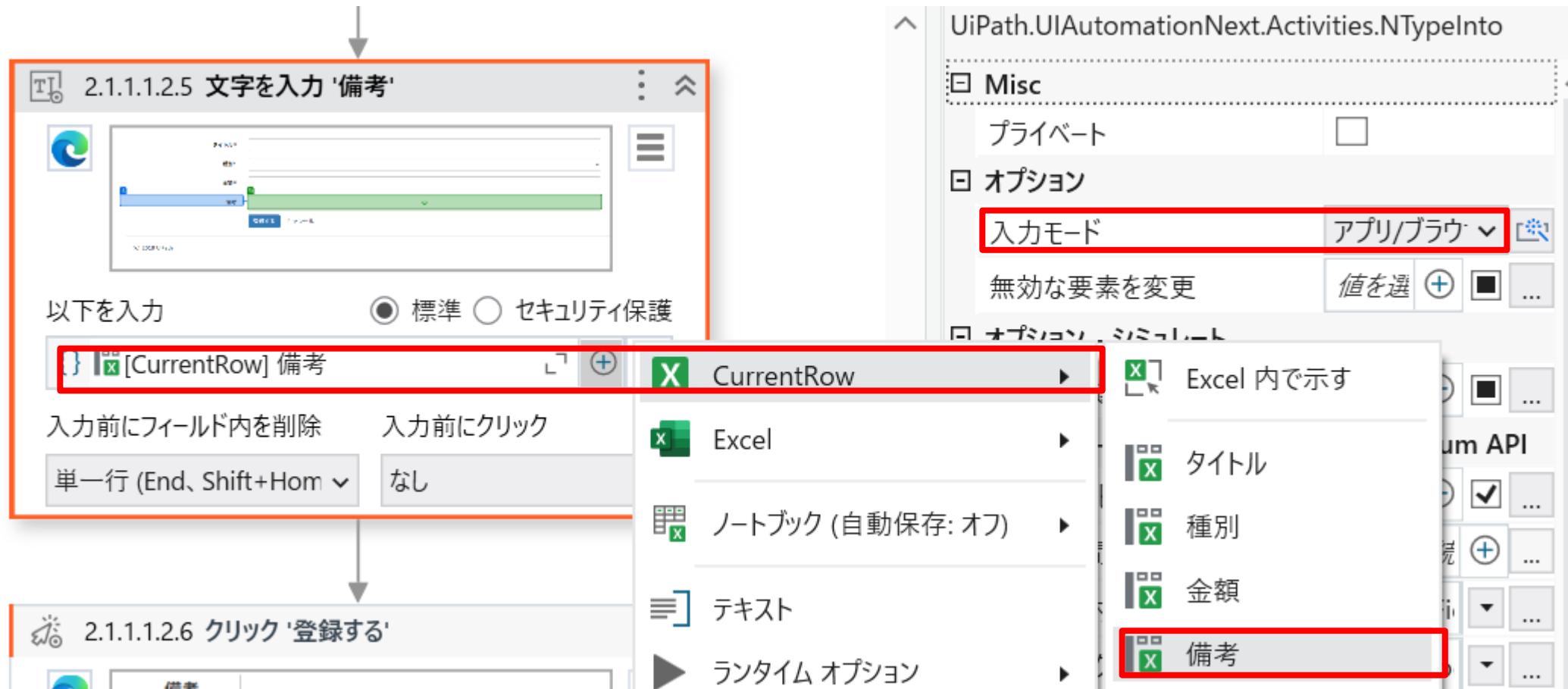


アクティビティパネルで「文字を入力」を検索、
「文字を入力 '金額*'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「備考」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「備考」を選択します。

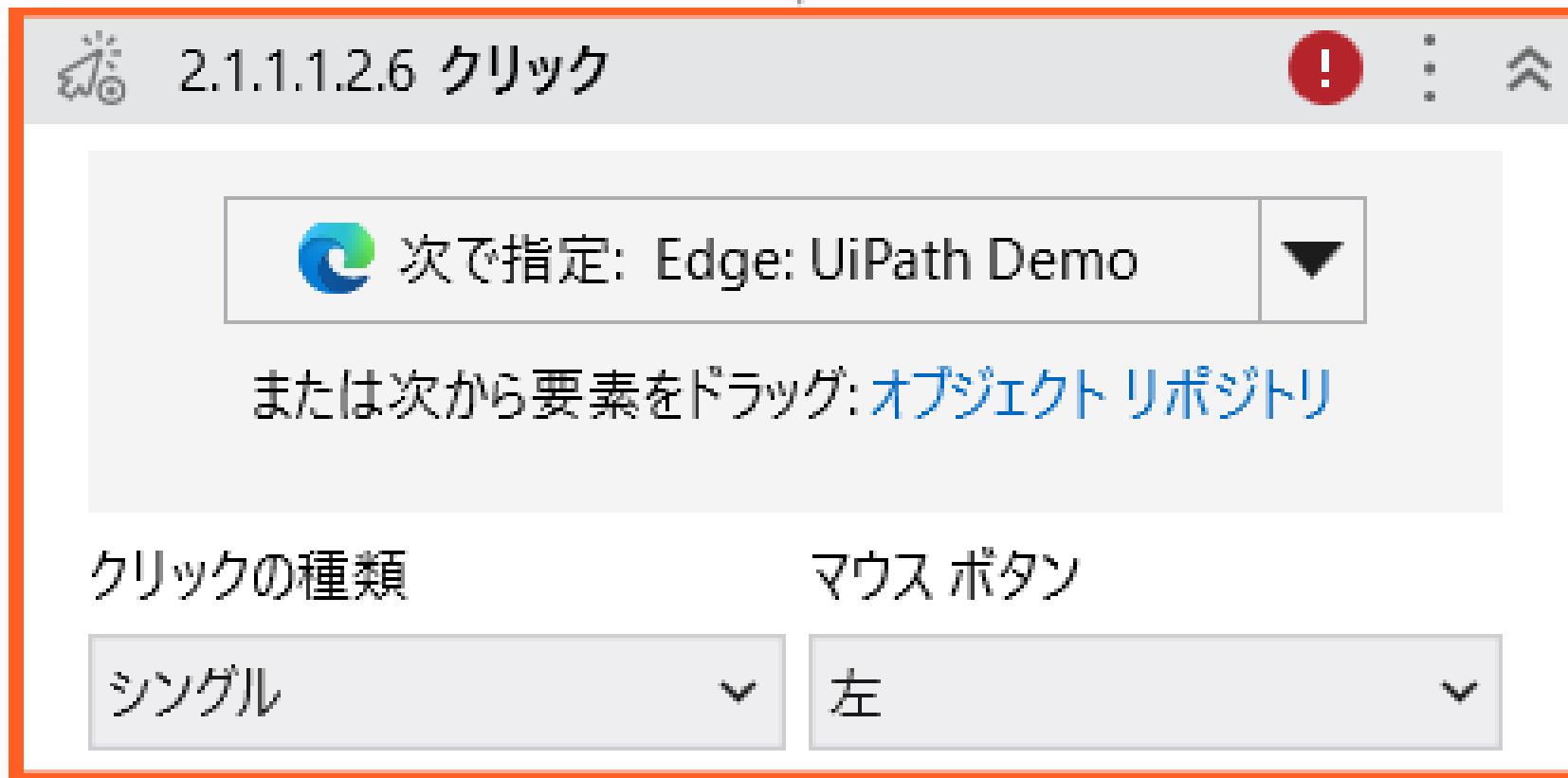


プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。
「以下を入力」で をクリック、
「CurrentRow」「備考」を選択します。

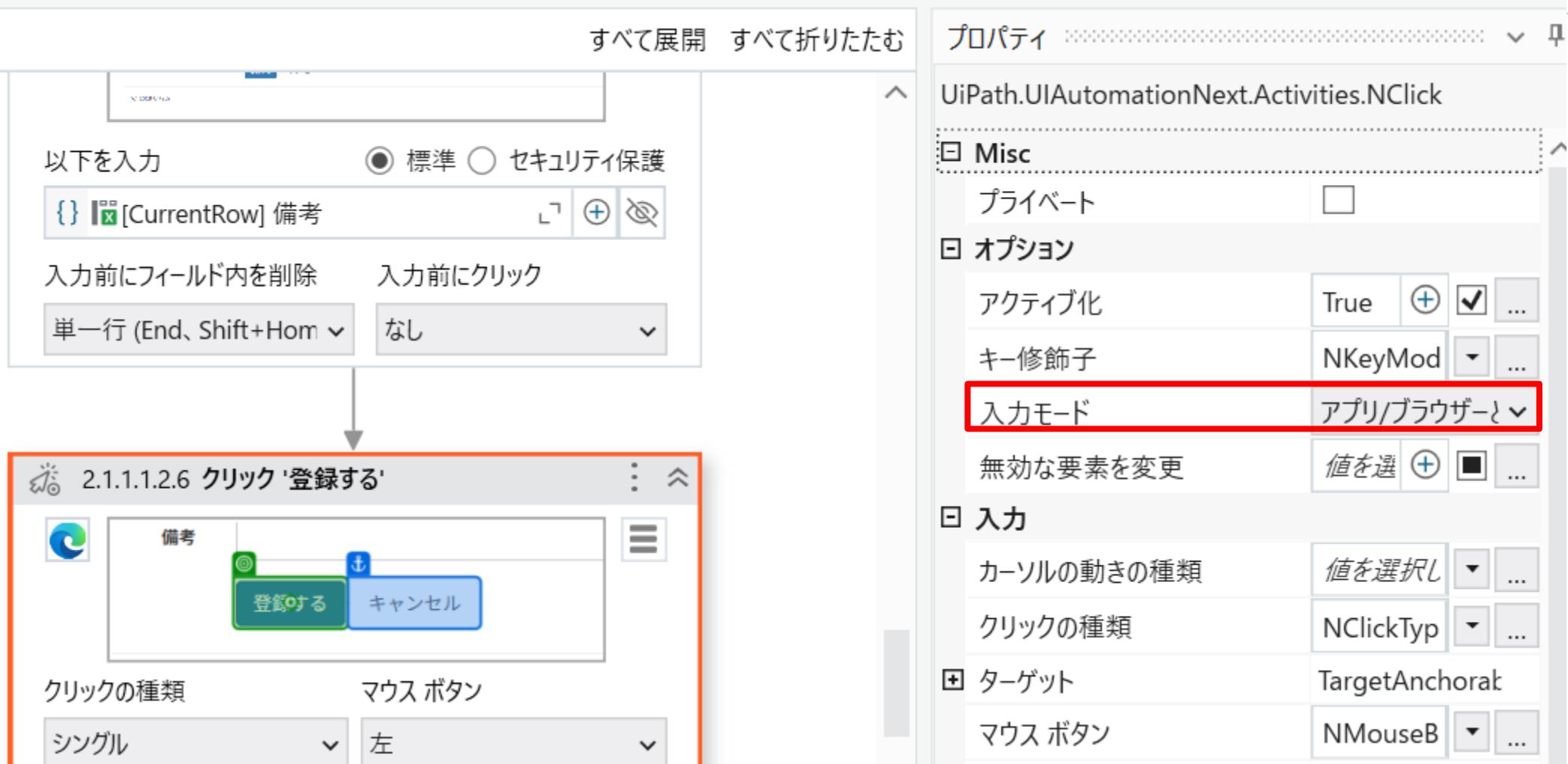


アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「文字を入力 '備考'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「登録する」、
アンカー「キャンセル」を選択します。



プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。



Edge 「UiPath Demoサイト」で、
(仮データを入力し)
「登録する」をクリック（図の画面に遷移）します。

UiPath Demo ホーム

経費照会

コード: 483260
タイトル: 交際費
種別: 仮払
金額: 10980
備考: 今月分

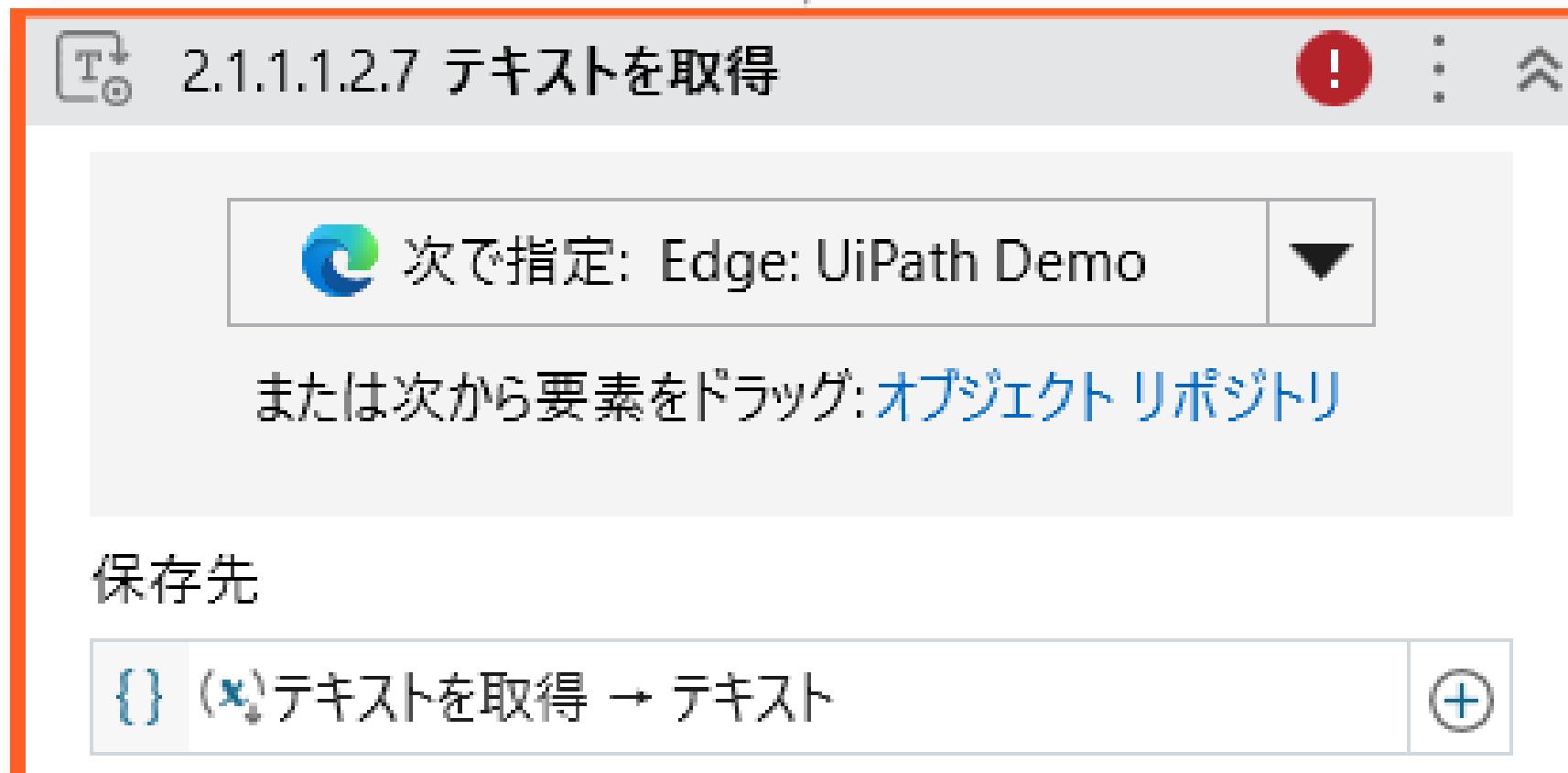
戻る

破棄

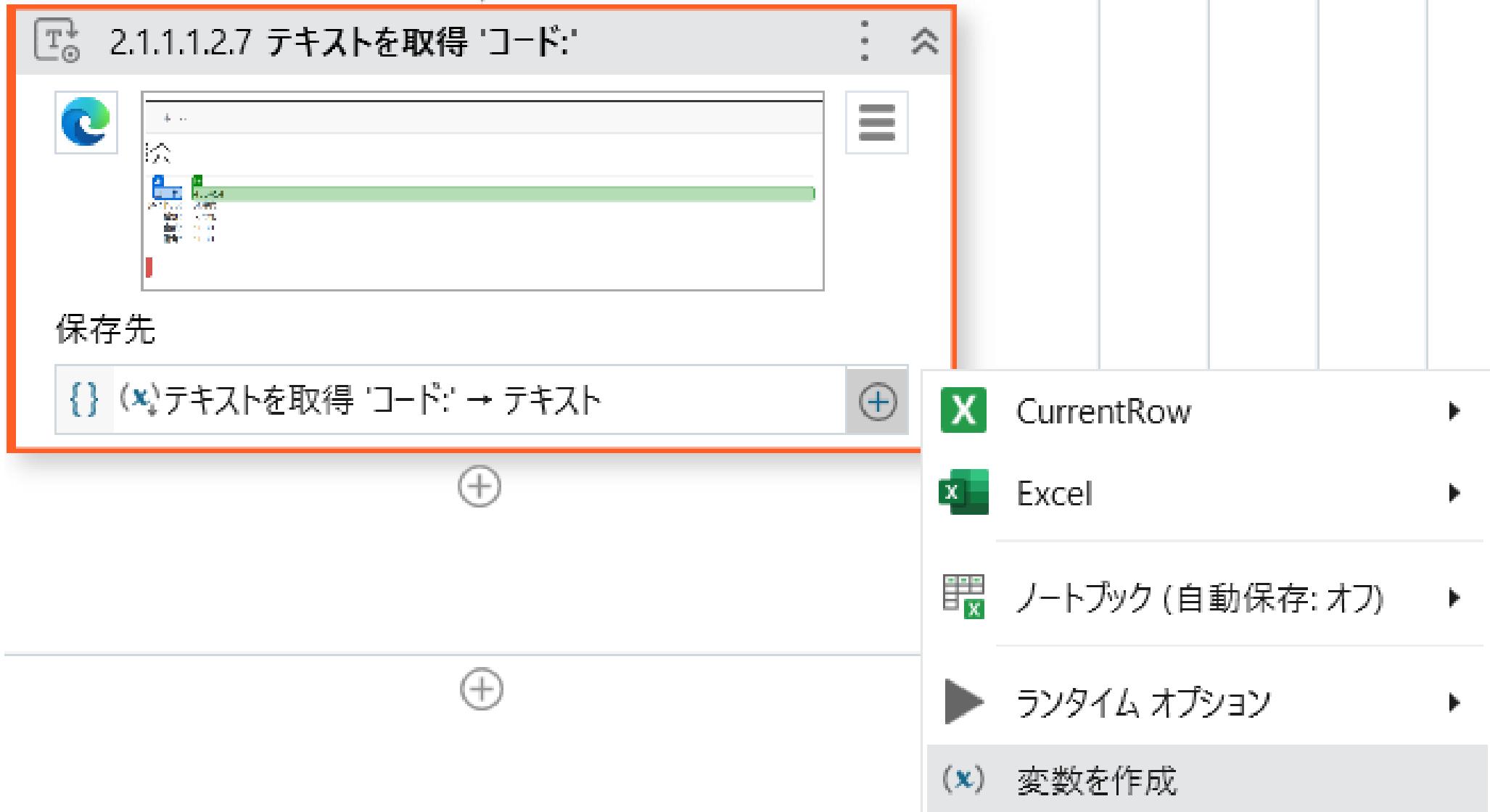
(c) 2018 UiPath

アクティビティパネルで「テキストを取得」を検索、
「クリック'登録する'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

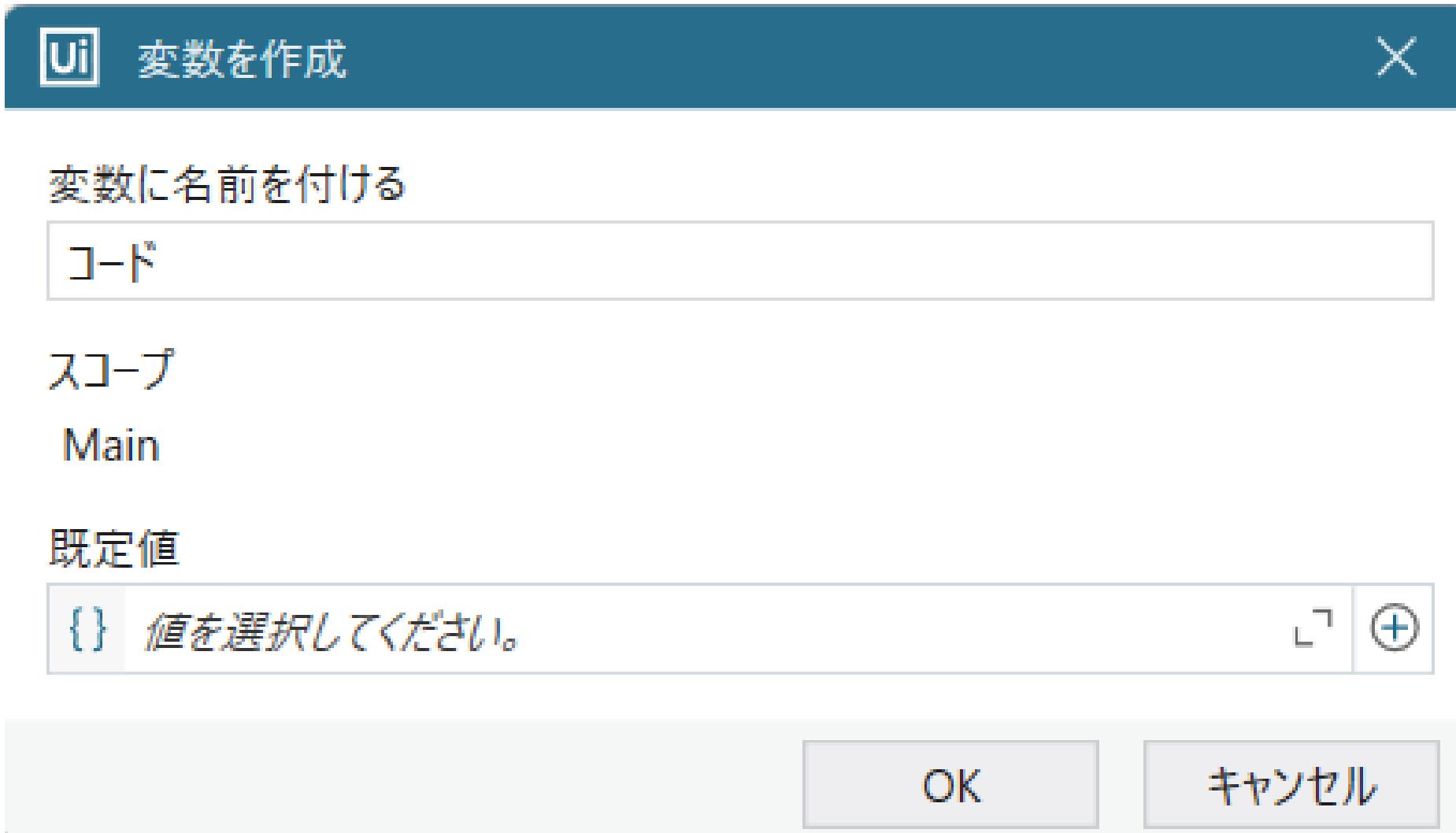
Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「コード：」右隣にある文字列、
アンカー「コード:」を選択します。



「保存先」で  をクリック、
「変数を作成」を選択します。



「変数に名前を付ける」に「コード」を入力、
「OK」をクリックします。

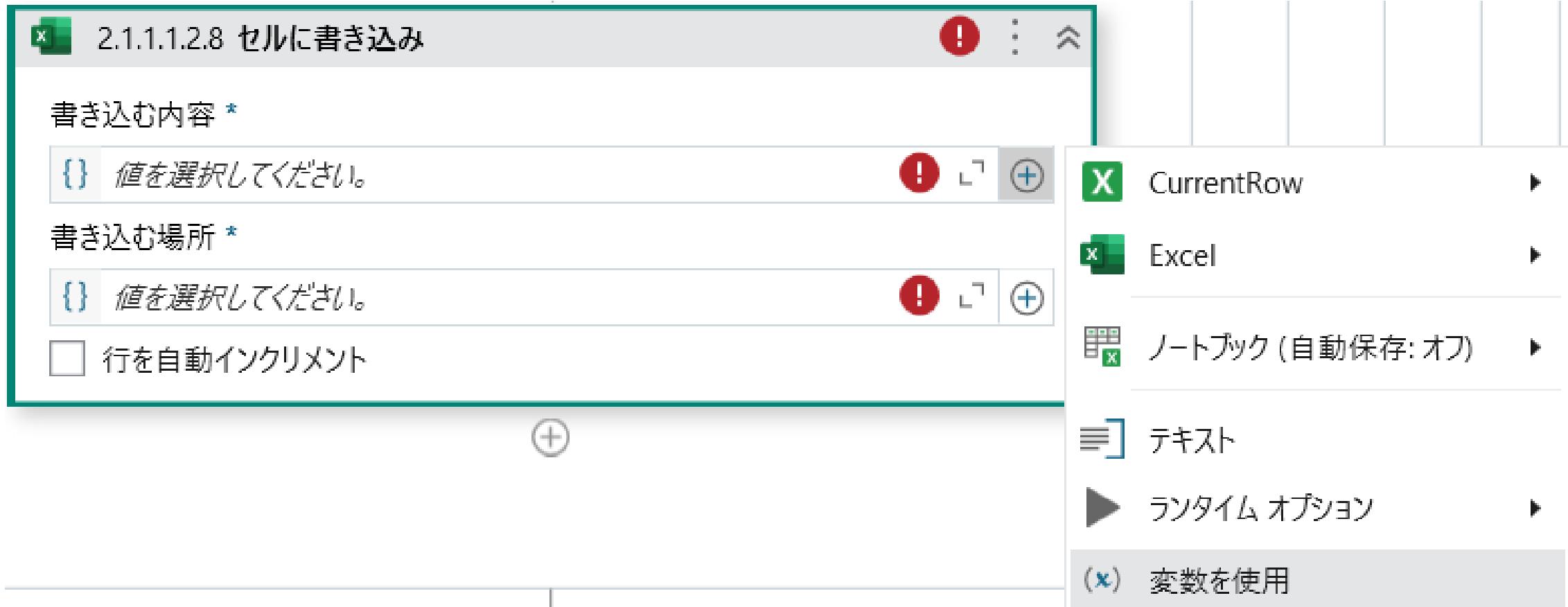


変数「コード」のデータ型を「String」に設定します

The screenshot shows the Data Manager interface with the following configuration:

- クリックの種類:** マウス ボタン
シングル 左
- 保存先:** 2.1.1.1.2.7 テキストを取得 'コード'
コード
- データマネージャー:** データ型: String (highlighted with a red box)
- 既定値:** 値を選択してください... (with a plus icon)

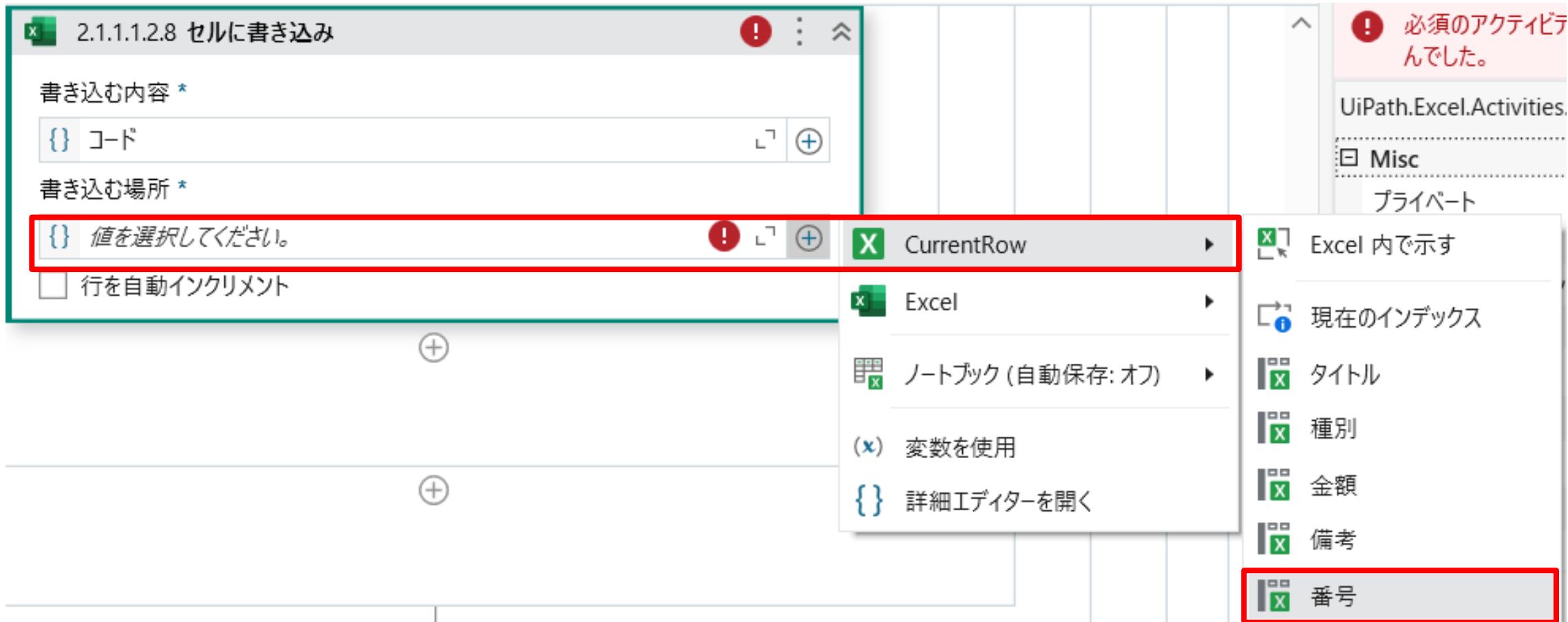
アクティビティパネルで「セルに書き込み」を検索、
「テキストを取得'コード:'」の下にドラッグ&ドロップします。
「書き込む内容」で  をクリック、
「変数を使用」を選択します。



変数「コード」を選択します。

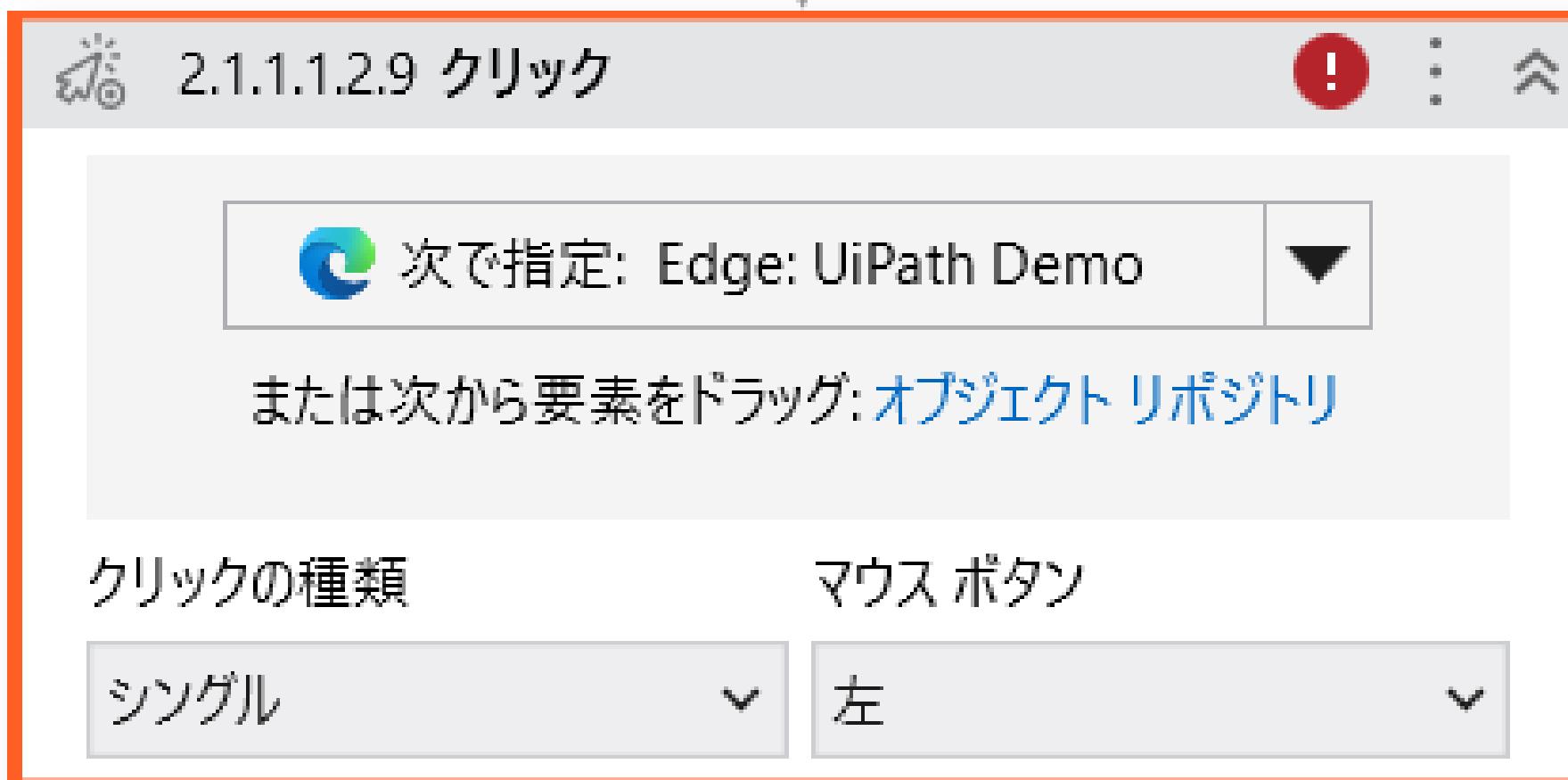
The screenshot shows a software interface for configuration or scripting. At the top, there is a toolbar with icons for file operations, a red circular warning icon with an exclamation mark, and other standard icons. The main title bar reads "2.1.1.1.2.8 セルに書き込み". Below the title, a section titled "書き込む内容" contains a placeholder text "{} 値を選択してください." with its own toolbar featuring a red warning icon, a left arrow, and a right arrow. A search bar at the bottom has the text "コード" entered. A dropdown menu below the search bar lists two items: "(x) 変数" and "(x) コード", with the "コード" item currently selected.

「書き込む場所」で  をクリック、
「.CurrentRow」 「番号」を選択します。

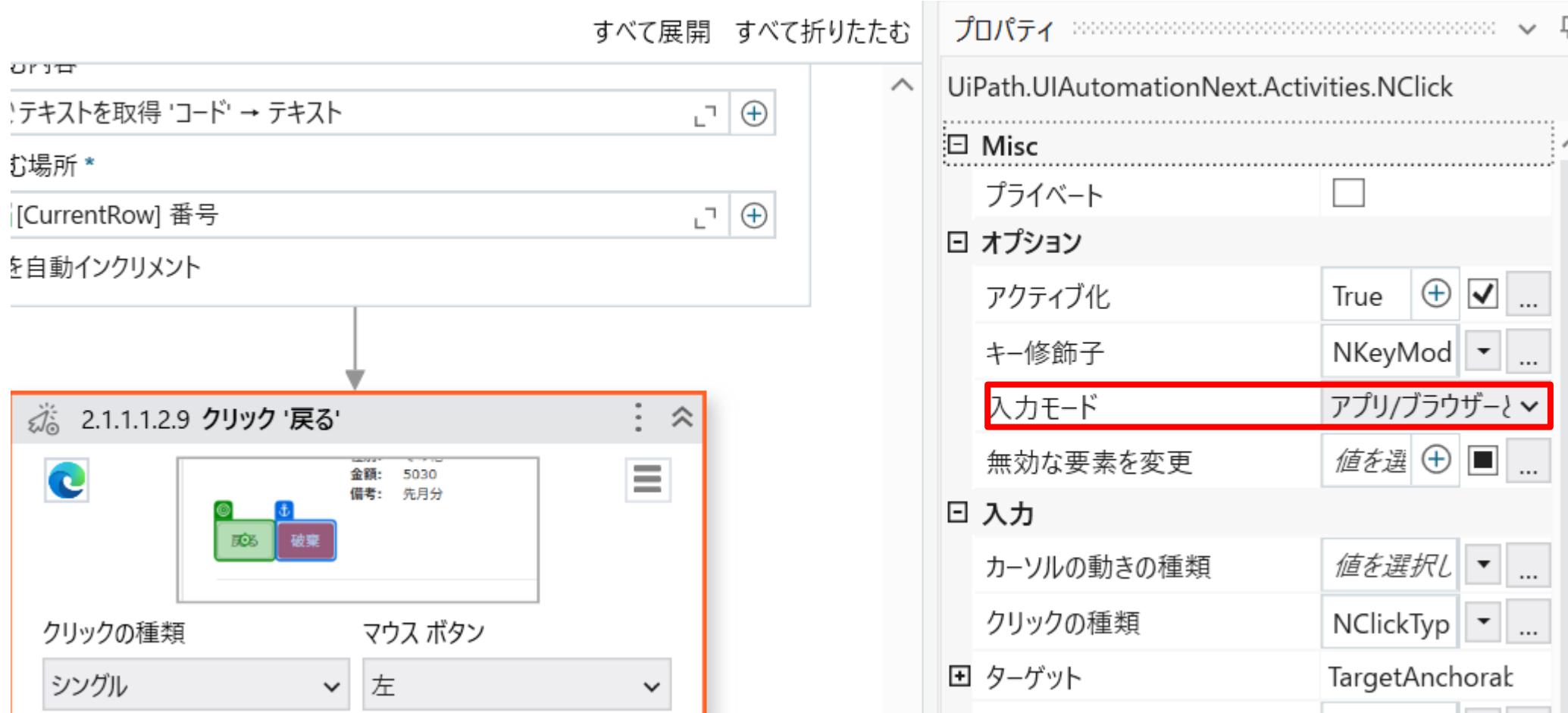


アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「セルに書き込み」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge 「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「戻る」、
アンカー「破棄」を選択します。



プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。



以上でロボは完成です。

リボンで「実行」をクリックすると、下記リンク先ビデオのように動作します。



<https://jeragroup.sharepoint.com/sites/Jenny1/Shared%20Documents/General/@共有ファイル/20 教育資料/数分でマスターできる超入門ミニロボ/市民開発サポート要員スキル向上/05 Excelとブラウザ操作/ロボ作成動画/ロボ実行動画.mp4>